TOSHIBA
Leading Innovation

システム形名

HWH-FH370C（一般地向け）
HWH-FH460SC（一般地向け）
HWH-FH460SCN（寒冷地向け）

貯湯タンクユニット

HWH-FH370CT（一般地向け）
HWH-FH460SCT（一般地向け）
HWH-FH460SCTN（寒冷地向け）

ヒートポンプユニット

HWH-450CU（一般地向け）
HWH-600CU（一般地向け）
HWH-600CUN（寒冷地向け）

時間帯別電灯契約用
季節別時間帯別電灯契約用
東芝自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機（家庭用）
取扱説明書

割引き料金の適用について

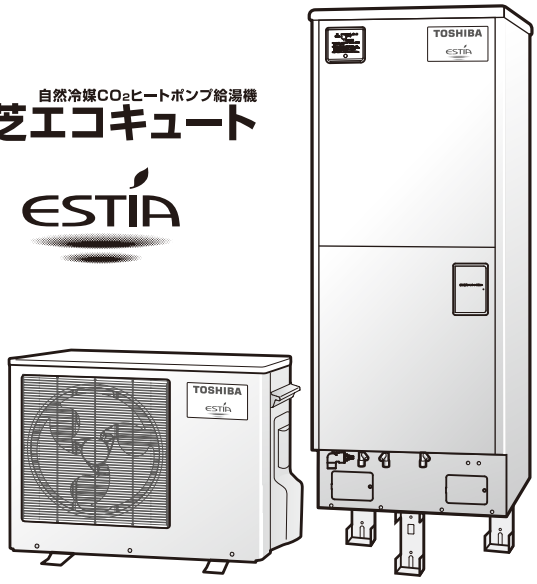
この機器は、通電制御による特別割引き料金の適用対象製品です。
適用にあたっては、最寄りの電力会社に申請してください。

- このたびは東芝自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書、工事説明書、据付作業確認書を販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

お願い

東芝ヒートポンプ給湯機は外気温が低くなると、圧縮機保護、および水配管の凍結防止のため自動的に動作しますので、常時元電源、漏電遮断器を入れたままご使用ください。

自然冷媒CO_2ヒートポンプ給湯機
東芝エコキュート
ESTIA



日本国内専用品
Use only in Japan

もくじ

ご使用の前に 3ページ

ヒートポンプ給湯機について … 3
安全上のご注意 …… 5
各部のなまえとはたらき …… 9

はじめに 14ページ

初めてお使いになるとき ……15
現在時刻の合わせかた……17

使いかた 19ページ

給湯温度を設定する…… 19
給湯温度の優先表示について
ふろ湯量を設定する
ふろ温度を設定する
湯はりをする（オートストップ機能） …… 21
湯かげんを調節する …… 22
あつくしたいとき（高温たし湯）
ぬるくしたいとき（ぬるく）
湯かげんを調節する（たし湯） …… 23
たっぷりにしたいとき（たし湯）

設定を変更する 25ページ

沸上げモードの設定 …… 25
沸増しのしかた …… 27
いつもよりお湯を使いそうなとき
残湯量の見かた
ちょっぴり沸増し（浴室から沸増しをする）
おこのみの湯はり量に調節する（おこのみモード）…29
チャイムを選ぶ …… 30
ナビゲーションを制限する …… 31
ナビゲーションの音量を調節する …… 32

便利な使いかた 33ページ

タンクの湯温を表示する …… 33
使用湯量を表示する …… 33
非常時のお湯（水）のとりかた …… 35
リモコンのロックのしかた …… 36
お願いとお知らせ …… 37

お手入れ 38ページ

凍結防止について……38
長期間ご使用にならないとき …39
安全点検・お手入れのしかた …41

お困りのとき 44ページ

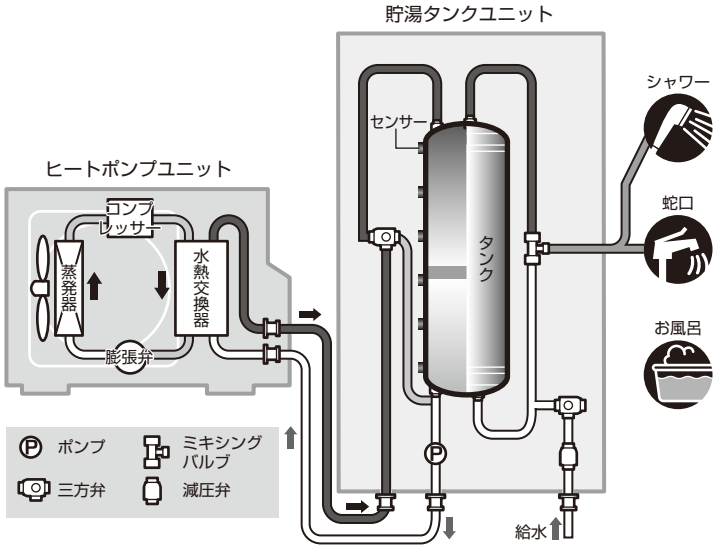
故障かな? ……44
こんな表示がでたら
エラー解除
このようなときは
仕様……47
保証とアフターサービス ……49

ヒートポンプ給湯機について

■ 空気の熱を効率良く集めてお湯を沸かします。

ヒートポンプ給湯機は、「空気の熱」を吸収した「冷媒」が、「コンプレッサー」で圧縮されることによりさらに高温になり、「水熱交換器」で「冷媒の熱」を「水」に伝え、お湯を沸かすシステムです。

※システム図は概念図ですので、本商品の構成とは異なります。



■ 知っておきたいこと

●ヒートポンプ給湯機は、お湯の使用量を学習して必要な量だけを沸上げるため、消費電力を抑えることができ、地球温暖化の原因となるCO_2の排出量を減らせます。
また、限られた容量のタンクにお湯を貯めて使用する製品ですので、お湯を多く使用する予定の場合やまだお湯を使用したいのに残湯量表示がすべて消えた場合は、「沸増しのしかた」(27ページ)の手順で沸増しを行ってください。

●学習したお湯の量を夜間時間帯の沸上げと昼間時間帯の沸増しでまかないます。
また、必要な量だけしか沸上げませんので、残湯表示が全部点灯しないことがあります。

●貯湯式給湯機の特徴として沸上げたお湯をいったんタンクに貯めます。貯めたお湯は放熱により徐々に温度が下がります。したがって、お湯を使わなくても残湯量表示が減ることがあります。

●沸上げモードの使用目安は下表のとおりです。

沸上げモード	設定内容	使用湯量	電気料金
おすすめ	標準的な設定です。	標準	標準
たっぷり	お湯の使用量が多いときの設定です。	多め	高め

●「おすすめ」モードで使用中、頻繁に残湯量表示が消えなければ、「たっぷり」モードに設定するよりも「沸増し」を利用する方がお得です。

●貯めたお湯の使いかた
湯はり・給湯に出湯する・・・ シャワー 蛇口

お湯の沸上げは、お湯の使用量を製品が学習し、湯切れ（残湯目盛り”0”）にならないように沸上げ温度（65～90℃）と必要な湯量を沸上げます。（残湯量表示が全部点灯しないことがあります。）

■ つぎの地域では設置できません。

●一般地向け製品は次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域用です。次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での設置はできません。
●連続的に外気温度がマイナス 5℃以下になる地域では、寒冷地向け製品をご使用ください。
●寒冷地向け製品は次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域用です。
●最低外気温度がマイナス 10℃を下回る地域では貯湯タンクユニットは屋内に設置してください。
●塩害地（海浜地区で潮風が直接あたる場所、海岸より約500m～約1km以内の地域）や、温泉地など特殊な場所には設置できません。（塩害地向け製品を除く）

地域区分	都道府県名
Ⅰ	北海道
Ⅱ	青森県、岩手県、秋田県
Ⅲ	宮城県、山形県、福島県、栃木県、新潟県、長野県
Ⅳ	茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
Ⅴ	宮崎県、鹿児島県
Ⅵ	沖縄県

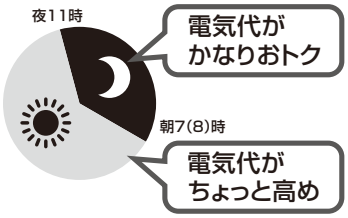
なお、同一県内であっても、次世代省エネルギー基準地域区分が異なる場合があります。

■ 時間帯別電灯契約専用機器です。

時間帯別電灯契約は、昼間の電気料金を高めにして、かわりに夜間の電気料金をグンとお安くするお得なプランです。
電気代の安い夜間時間帯にお湯を沸かし、昼間に使用するのが基本ですので、ランニングコストを大幅に低減できます。
電力会社と「時間帯別電灯契約」または「季節別時間帯別電灯契約」のどちらかで契約してお使いください。
9、10時間型の場合は、設定変更が必要です。販売店、工事業者にご確認ください。
夜間8時間、季節別1時間帯別の場合は変更不要です。

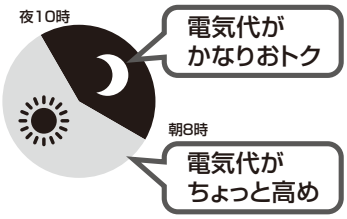
時間帯別電灯
[夜間8(9)時間型]

夜間時間帯は
夜11時～朝7(8)時までの
8(9)時間



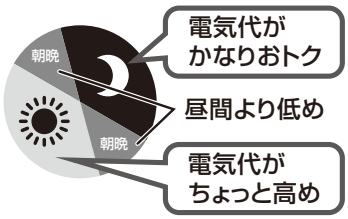
時間帯別電灯
[夜間10時間型]

夜間時間帯は
夜10時～朝8時までの
10時間



季節別(3時間帯別)
時間帯別電灯

電力量料金が
夜間・昼間・朝晩
の3つに分かれます



※詳しくはお近くの電力会社にご確認ください。

安全上のご注意

●商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表　示	表示の意味
⚠警告	この表示の項目は、「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	この表示の項目は、「取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること」を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の説明
禁止	⃠は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■据付前の注意事項

⚠警告

据付・配管・電気工事は、必ずお買い上げの販売店または工事店に依頼する
専門業者
ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・水漏れの原因になります。

アース棒など、別売部品も東芝品を使用する
純正部品
純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。

業務用・改造後の使用はしない
禁止
業務用に使用しないでください。事故・故障の原因となります。安全点検を行ってください。

塩害地には設置しない（塩害地向け製品を除く）
禁止
機器が故障するおそれがあります。故障した場合は保証期間中でも有料修理となります。
塩　害　地…海浜地区で潮風が直接あたる場所、海岸より約500m～約1km以内の地域

温泉地など特殊な場所には設置しない
禁止
有害なガスで機器が故障するおそれがあります。
故障した場合は保証期間内でも有料修理となります。

⚠注意

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する
上水道
塩分・石灰分・その他の不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用は避けてください。
温泉水・地下水・井戸水の使用は、水質によって故障・水漏れの原因になります。

■据付後の確認事項

⚠警告

アース工事がされているか確認する
アース工事
故障や漏電のときに感電の原因になります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

機器の近くにガス類や引火物が置かれていないことを確認する
施工確認
発火の原因になります。

ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する
施工確認
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

⚠注意

施工確認

設置する床面が防水処理･排水処理されているか確認する
水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。

施工確認

脚をアンカーボルトで固定しているか確認する
地震などが発生した場合、本体が倒れてけがをすることがあります。

施工確認

凍結防止対策をしているか確認する
配管が破損してやけどをすることがあります。

施工確認

機器やシンプルリモコンを、浴室など湿気の多いところに取り付けていないか確認する
火災･感電の原因になります。

施工確認

リモコンを、直射日光の当たるところ、屋外や燃焼器具の上など高温になるところに取り付けていないか確認する
変色、変形、火災の原因になります。

施工確認

ヒートポンプユニットを隣家に配慮した場所に設置しているか確認する
運転音や振動が伝わり隣家に被害を与える場合があります。

施工確認

ヒートポンプユニットをキッチンの換気扇の近くに設置していないか確認する
油分の付着や排気により、性能低下や故障の原因になります。

施工確認

ヒートポンプユニットのドレンホースが確実に配管されているか確認する（一般地向け）
不確実な場合、設置場所の周辺を濡らす原因になります。

■使用上の注意事項

⚠警告

禁止

機器の近くにガス類や引火物を置かない
発火の原因になります。

禁止

貯湯タンクユニット･ヒートポンプユニットの前面カバーは開けない
感電の原因になります。

手をふれない

給湯･排水時は熱湯が出るおそれあり。やけどに注意する
給湯せんを開いた直後は水が出ますがすぐに熱い湯に変わります。
シャワーを使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。いきなり頭や体にかけず湯温を十分確認してから使用してください。
排水せんを操作した場合、熱湯が出ることがあります。

手をふれない

給湯時は給湯せん本体に手をふれない
やけどをすることがあります。朝、最初に給湯せんを開くときや、オートストップ機能を使用したあとは蒸気が吹き出ることがあります。給湯せんは少しずつ開いてください。

手をふれない

ヒートポンプ配管および接続口には手をふれない
やけどをすることがあります。

安全上のご注意（つづき）

■使用上の注意事項

⚠警告

ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンには手をふれない
けがをすることがあります。

ヒートポンプユニットの空気吸込口･吹出口に棒や手を入れない
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。

入浴の際は必ず浴槽の湯温を確認する
やけどをすることがあります。

⚠注意

そのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。
飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
･必ず水質基準に適合した水を使用してください。
･熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
･固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

貯湯タンクユニットの電源ボックスカバーは閉じておく
ショート･感電の原因になります。ぬれた手でさわらないでください。点検･操作の後には必ずねじをしめてください。

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない
本体が転倒したり、配管が破損してやけどなどの事故の原因になります。とくに、幼児･子供に注意してください。

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

積雪時には除雪をする
誤作動や故障の原因になります。

自家浄水システムの処理水を使用しない
貯湯タンク内に菌が繁殖しやすくなります。

■点検･お手入れの注意事項

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する
漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。

逃し弁の点検時には逃し弁排水管に手をふれない
やけどをすることがあります。

⚠注意

逃し弁を点検する
点検しないとタンクや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

タンクの熱湯は直接排水しない
やけどをすることがあります。水で薄めてから流してください。
または湯はり等を行ってお湯を使いきってから排水してください。

1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をする
水質が変化することがあります。

水漏れを点検する
とくに集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。日常点検してください。

■修理・譲渡等の注意事項

⚠警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり異常動作してけがをすることがあります。

⚠注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書と別冊の工事説明書を商品本体の目立つところにテープ止めしてください

■異常時の注意事項

⚠警告

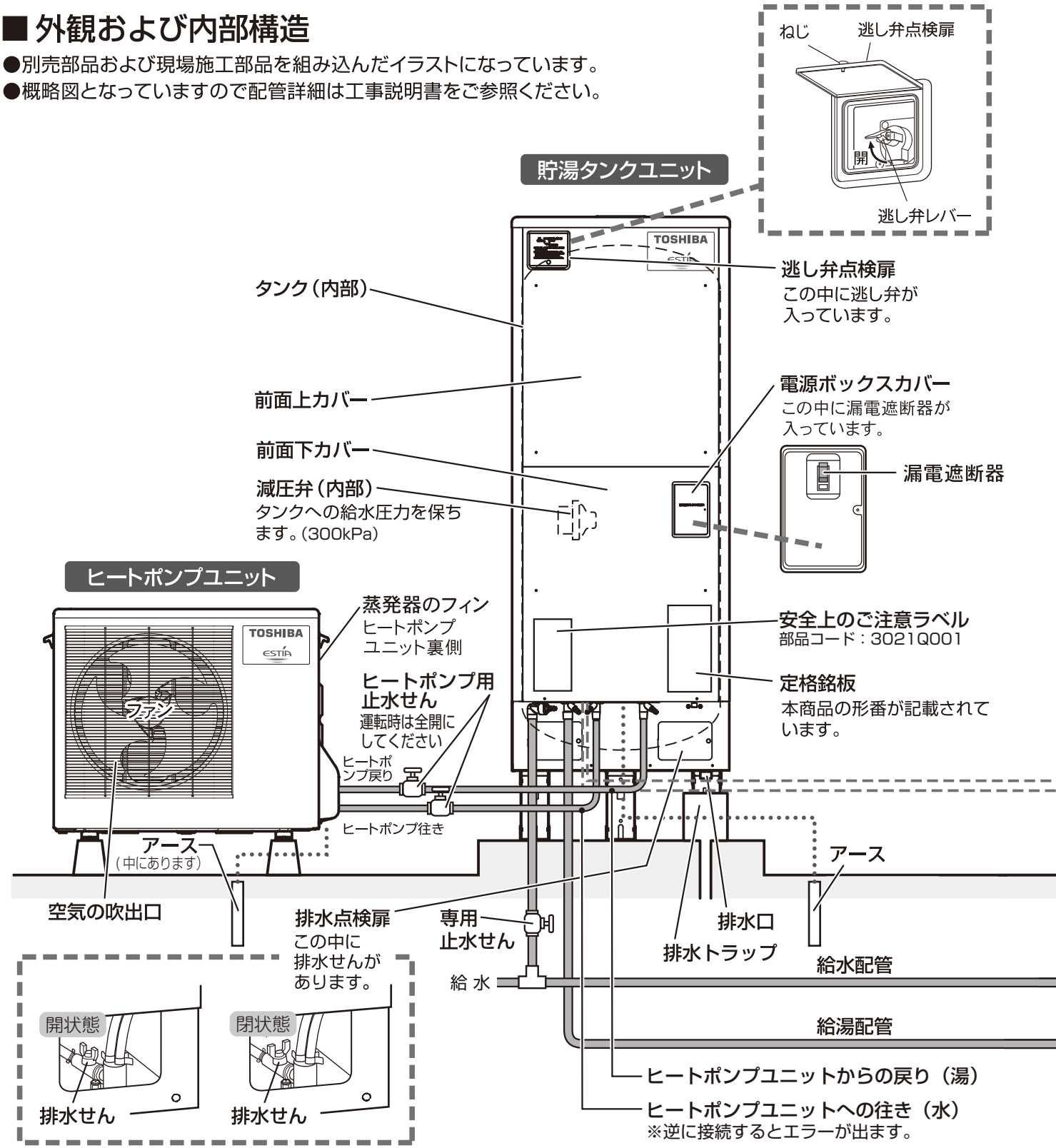
異常時（こげ臭い、製品からの水漏れ等）は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、お買い上げの販売店または東芝電気給湯機ご相談センターへ連絡する
異常のまま使用されますと、故障や感電・火災の原因になります。

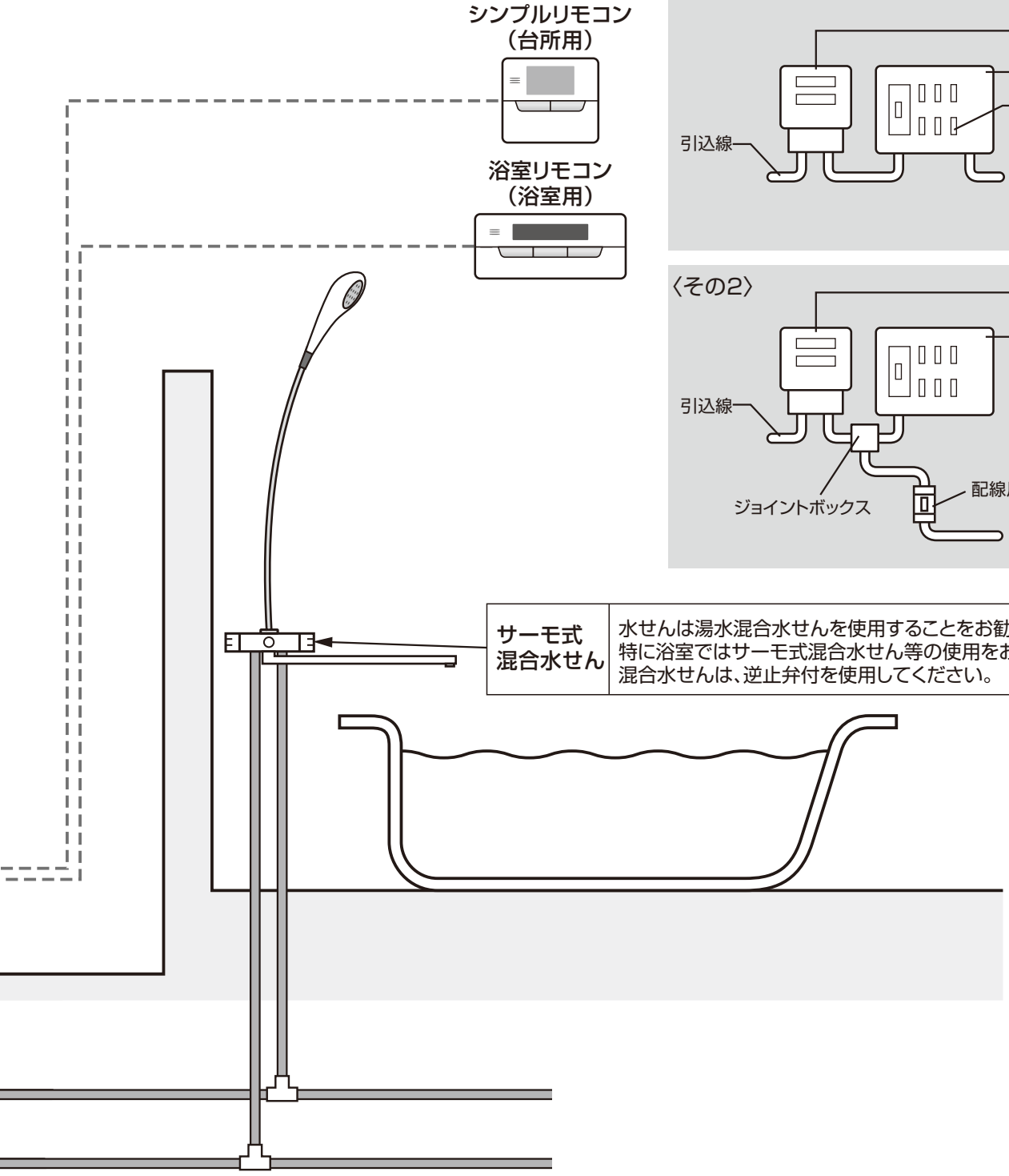
各部のなまえとはたらき

●この機器はお湯を沸かしてタンクに貯めておき、必要なときに使用するのが基本です。
●アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃がすため、機器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子をアース線で接続することにより構成されます。
●貯湯タンクユニットに「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

■ 外観および内部構造

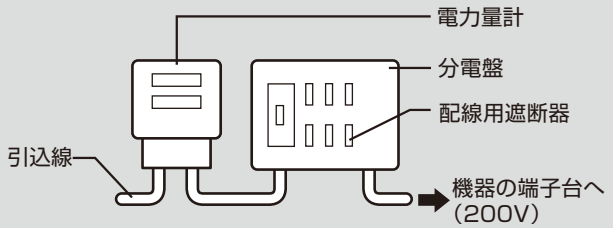
●別売部品および現場施工部品を組み込んだイラストになっています。
●概略図となっていますので配管詳細は工事説明書をご参照ください。



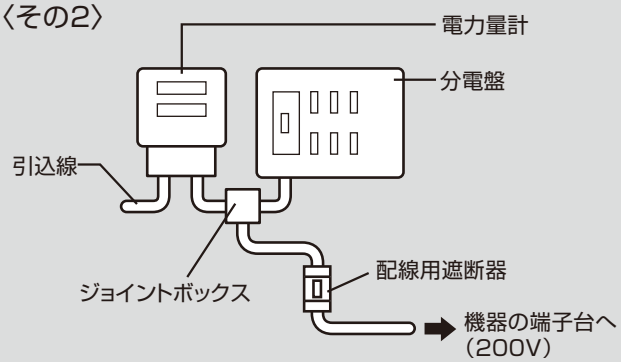


標準引込み配線例 ※くわしくは工事説明書をご覧ください。

〈その1〉



〈その2〉



お 願 い

貯湯タンクユニットの「安全上のご注意ラベル」がなくなったり、文字が読みにくくなった場合は、部品コードを指定しラベルを購入し、元の位置に貼ってください。

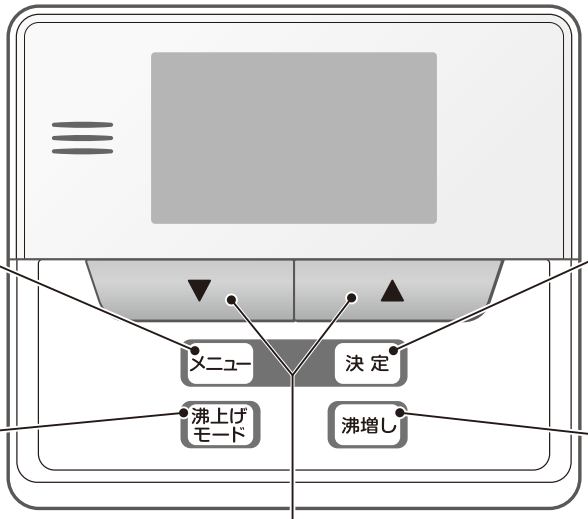
各部のなまえとはたらき（つづき）

シンプルリモコン

■シンプルリモコン[HWH-RS80F]

●イラストはふたが開いた状態です。
●液晶の表示は全表示している状態です。

操作部



「メニュー」ボタン
時刻設定等をするスタートボタンです。

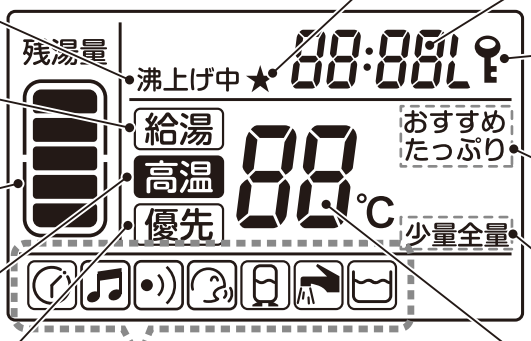
「決定」ボタン
設定内容を決定します。

「沸上げモード」ボタン
タンク内の沸上げモードを設定します。
▶25ページ

「沸増し」ボタン
昼間の電気でタンクの沸増しを設定します。
▶27ページ

「▼▲」ボタン
- 給湯温度を設定します。（30℃～48℃、50℃、60℃）
- 設定内容を変更します。

表示部



システム連結表示
システム並列連結設定時で、給水停止弁が開いているときに表示します。
▶工事説明書

デジタル表示
現在時刻･湯量使用湯量･エラーコードを表示します。

「沸上げ中」表示
タンク沸上げ中に表示します。

ロック表示
操作ボタンをロックしているときに表示します。
▶36ページ

「給湯」表示
給湯温度が表示されていることを示します。

残湯量表示
タンク内の残り湯量を5段階で表示します。▶28ページ

沸上げモード表示
タンク内の沸上げモードを表示します。▶25ページ

「高温」表示
給湯温度が高温であることを示します。注意してください。

沸増し表示
沸増しのパターンを表示します。
▶27ページ

「優先」表示
シンプルリモコンの給湯温度設定が優先のときに表示します。
▶19ページ

設定メニュー表示
リモコンの「メニュー」ボタン→「▼▲」ボタンで各設定をマークの組み合わせで表示します。
「▼▲」ボタンで選択できないマークは、設定できません。

デジタル表示
給湯温度･各設定のレベルを表示します。

「設定メニュー表示」のマークのなまえ

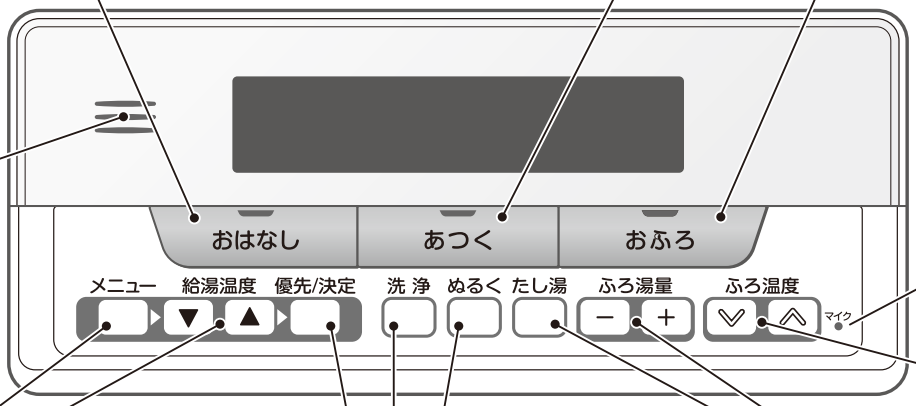
	時計マーク		タンク湯温マーク		使用湯量マーク		おふろマーク※
	チャイムマーク※		ナビゲーションマーク※		おはなしマーク※	※表示しますが機能はありません。	

●シンプルリモコンは防水タイプではありませんので、水をかけないでください。故障の原因になります。
●シンプルリモコン表示部のバックライトの点灯時間は、ボタンを押してから約10秒です。

■浴室リモコン[HWH-RB80F]

●イラストはふたが開いた状態です。
●けい光表示部の表示は全表示している状態です。
（ボタン操作がないときは全消灯しています）

操作部



「おはなし」ボタン
この機器では機能しません。

「あつく」ボタン
高温たし湯の入／切を行います。
▶22ページ

「おふろ」ボタン
湯はりを開始･終了します。
▶21ページ

スピーカー

マイク

「メニュー」ボタン
各設定をするスタートボタンです。設定内容は設定したリモコンに反映されます。

「優先/決定」ボタン
- 給湯温度の優先権をメインリモコンと浴室リモコンで切替えます。▶19ページ
- 設定内容を決定します。

「ぬるく」ボタン
差し水（約30℃）の入／切を行います。
▶22ページ

「ふろ湯量 −+」ボタン
湯はりする量を設定します。
（20L刻み、100L〜400L）
▶20ページ

「給湯温度 ▼▲」ボタン
- 給湯温度を設定します。▶19ページ
（30℃〜48℃、50℃、60℃）
- 設定内容を変更します。

「洗浄」ボタン
この機器では機能しません。
（設定した場合、すぐに強制解除となります）

「たし湯」ボタン
たし湯の入／切を行います。
▶23ページ

「ふろ温度 ∨∧」ボタン
湯はりの温度を設定します。
（35℃〜48℃）1℃刻み
▶22ページ

浴室リモコンは省エネのため5分間操作しないと全消灯します。何かボタンを押していただければ表示します。

表示部

ロック表示
操作ボタンをロックしているときに表示します。

給湯用「高温」表示
給湯温度が高温であることを示します。注意してください。

「ぬるく」表示
「ぬるく」（差し水）中に表示します。

「たし湯」表示
たし湯中に表示します。

「おこのみ」表示
湯はり量が「おこのみ」設定になっていると表示します。
▶29ページ

残湯量表示
タンク内の残り湯量を5段階で表示します。

湯はり水位表示
ふろ湯量の水位を目安として表示します。
▶20ページ

「優先」表示
浴室リモコンの給湯温度設定が優先のときに表示します。
▶19ページ

おふろ用「高温」表示
高温たし湯中に表示します。

給湯用デジタル表示
給湯温度･各設定メニューを記号で表示します。

時計用デジタル表示
現在時刻･エラーコードを表示します。

矢印表示
浴槽に給湯されているときに表示します。

おふろ用デジタル表示
湯はり時の温度および初めの湯はり量を表示します。

●浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ水をかけないでください。故障の原因になります。
●浴室リモコンを使用しない時間が5分以上続くと、表示部が自動的に消灯します。また、お湯を使用するとリモコンの表示が点灯します。給湯温度が50℃、60℃に設定されているときは、表示部は消灯しません。

各部のなまえとはたらき（つづき）

リモコンの組み合わせについて

●リモコンの組み合わせにより機能に制限がありますので、下表をご覧いただきご使用ください。
●シンプルリモコンは2個まで増設可能です。
●この機器を複数並列接続してご使用する場合は、オートストップ機能が働きませんので自動湯はりができません。
（浴室リモコンが設置されていても操作しないでください。）

リモコンの組み合わせ表

機能＼組み合わせ	シンプル	浴室	シンプル+浴室	
			シンプル	浴室
湯はり（オートストップ機能）	—	●	—	●※
給湯温度設定	●	●	●	●
沸上げモード	●	●	●	●
沸増し	●	—	●	—
ちょっぴり沸増し	—	●	—	●
湯はり量設定	—	●	—	●
湯はり温度設定	—	●	—	●
たし湯	—	●	—	●※
あつく（高温たし湯）	—	●	—	●※
ぬるく	—	●	—	●※
おこのみ湯はり	—	●	—	●※
チャイルドロック	●	●	●	●
チャイムを選ぶ	—	●	—	●
ナビゲーション制限	—	●	—	●
ナビゲーション音量	—	●	—	●
タンク湯温確認	●	●	●	●
湯使用量	●	●	●	●
給湯量ナビ	—	●	—	●

※浴室リモコンに優先権がない場合は該当する機能が動作しません。
●機能がない操作はボタンを押してもすぐに強制解除となります。

メモ

初めてお使いになるとき

●初めてお使いになるときは、販売店または工事店に下記内容が実施されているか確認してください。
実施されているときは「現在時刻の合わせかた」（17ページ）から、実施されていないときは下記手順に従ってください。

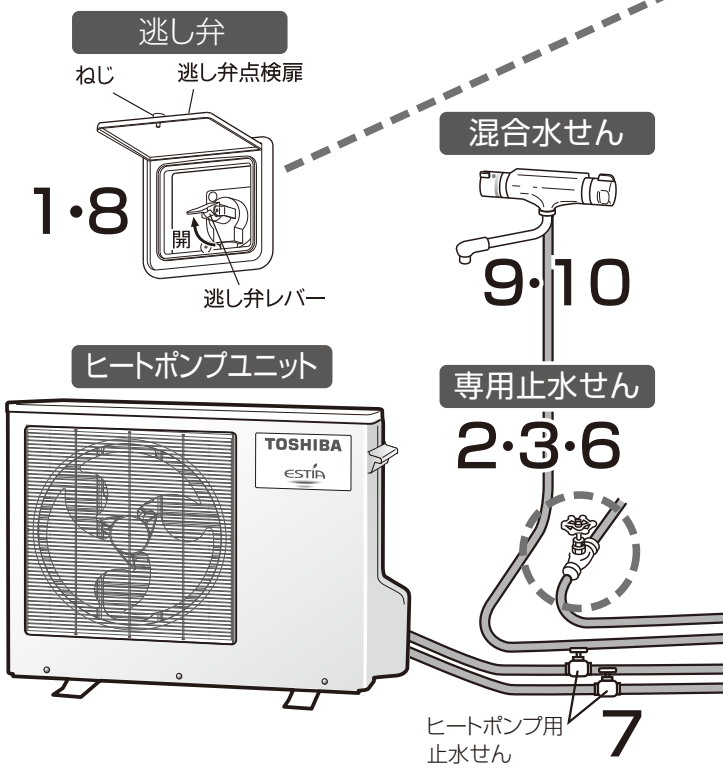
⚠警告

満水確認

貯湯タンクユニットが満水になっていることを確認してから通電する

満水にしないで通電すると負圧によりタンクが破損し、やけどのおそれや水漏れの原因になります。

タンクや配管内のゴミ･油などを洗い流すため、1度給水したらすべて排水し、再び給水してください。



1.貯湯タンクユニットに給水する

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

2 専用止水せんを開く

約20分～40分で排水トラップに水が出て満水になります。（見えないときは水の音で確認してください）

3 専用止水せんを閉じる

2.給水したあとで排水する

4 排水せんを開く

約40分～50分で水が出つくします。
（排水からはじめる場合は、逃し弁レバーを上げてください）

5 排水せんを閉じる

3.もう1度給水する

6 専用止水せんを開く

約20分～40分で排水トラップに水が出て満水になります。（見えないときは水の音で確認してください）

7 ヒートポンプ用止水せんが開いていることを確認する

8 満水になったら逃し弁レバーを戻して、逃し弁を閉じる

逃し弁点検扉を閉じ、ねじを確実にしめます。

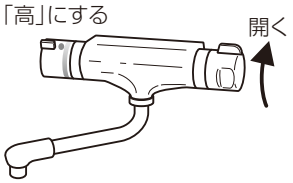
9 混合水せんのお湯側を開く

右の図を参照してください。
混合水せんから水が出ることを確認します。

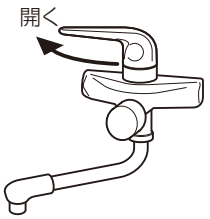
10 混合水せんのお湯側を閉じる

混合水せんの種類とお湯側の開きかた

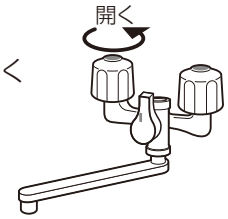
■サーモスタットタイプ
湯温調節を「高」にして給湯せんを開く



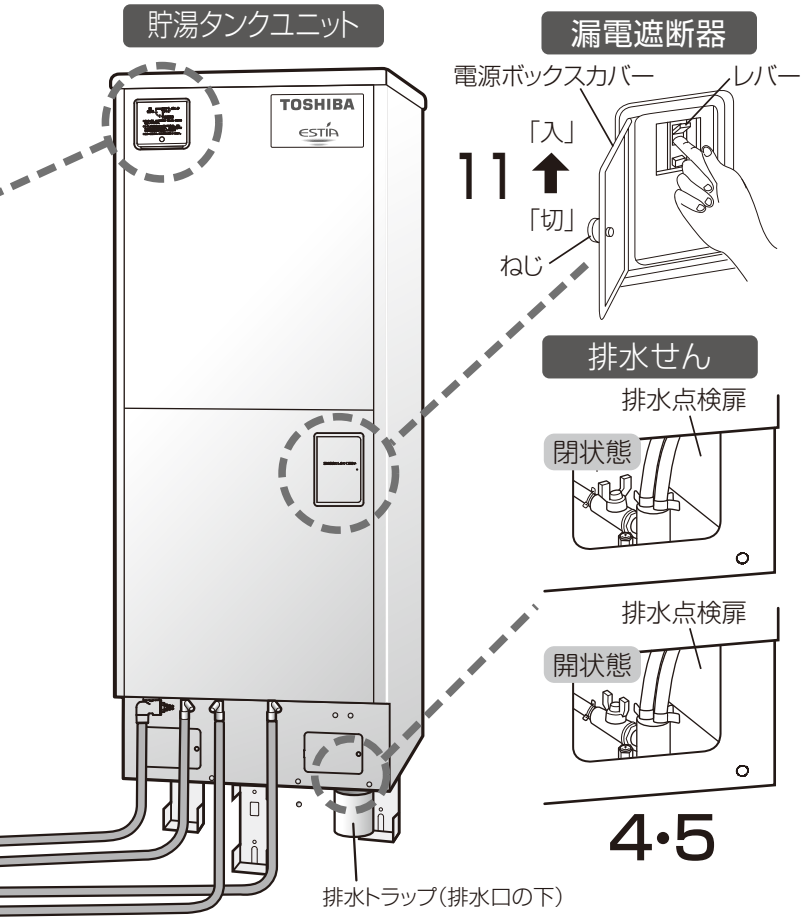
■シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回して開く



■2バルブタイプ
お湯側（給湯せん）だけを開く



●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー·逃し弁点検扉·排水点検扉の扉を閉じて、ねじを確実にしめてください。



4.電源を入れる

通電は、必ず給水をしてから行ってください。

11 漏電遮断器のレバーを「入」にする

ポンプが約3分間断続運転します。
電源ボックスカバーを閉じ、ねじを確実にしめてください。

5.現在時刻を合わせる

12 シンプルリモコンまたは、浴室リモコンで現在時刻を合わせる

17ページをご覧ください。

現在時刻が設定されると、「運転モード」が「おすすめ」になっていますので、すぐにお湯を沸かし始めます。
はじめての沸上げの場合は、全量を沸上げるまで運転を継続します。

沸上げが開始されると、排水トラップに水が排水されます。これはお湯を沸かすとき水が膨張するので、その膨張分を逃がすためのものです。370Lのタンク容量のもので一晩の内に約11L排水されますが、異常ではありません。
また、昼間でも沸増し中は膨張水が排水されます。

現在時刻を合わせるときのポイント

現在時刻の設定は、リモコンの「メニュー」ボタン→「▼▲」ボタンで進めて行きますが、そのときの「▼▲」ボタンで他の設定も続けて行うことができます。各設定の流れは下図の通りになります。

シンプルリモコン

マーク		
	現在時刻を合わせます。	▶ 17ページ
	タンク内の湯温を表示します。	▶ 33ページ
	お湯の使用量を表示します。	▶ 33ページ

※「現在時刻の設定」以外は、設定したリモコンのみに反映されます。

	表示しますが機能はありません。

浴室リモコン

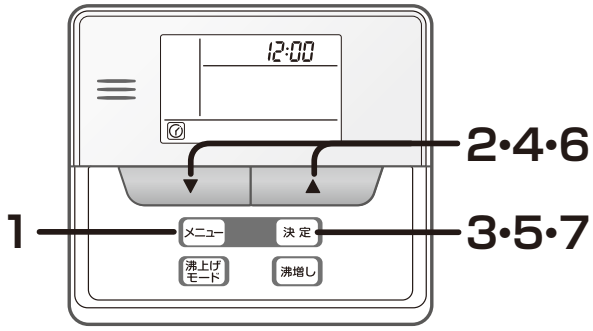
記号		
F1	表示しますが機能はありません。	
F2	現在時刻を合わせます。	▶ 17ページ
F3	チャイムを選びます。	▶ 30ページ
F4	ナビゲーションを制限します。	▶ 31ページ
F5	ナビゲーションの音量を変えます。	▶ 32ページ
F6	表示しますが機能はありません。	
F7	タンク内の湯温を表示します。	▶ 34ページ
F8	お湯の使用量を表示します。	▶ 34ページ
F0	表示しますが機能はありません。	

現在時刻の合わせかた

シンプルリモコン

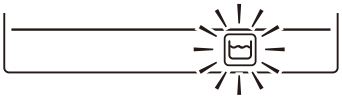
●給湯機をお使いいただくには、必ず現在時刻をシンプルリモコン・浴室リモコンのいずれかで設定してください。
●誤った時刻を設定すると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。
●時刻は24時間表示です。
●設定中10秒間ボタン操作がないと通常画面に戻ります。その場合は、1の操作からやり直してください。

表示はお客さま購入時の設定です。



1 シンプルリモコンの メニュー を押す

おふろマークが点滅
または点灯（湯はり中）



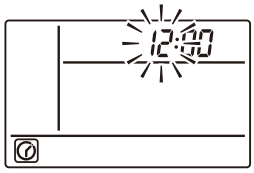
2 ▼ ▲ の「▲」を1回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。

時計マークが点滅

3 決 定 を押す

時計マークが点灯し、デジタル表示の「時」が点滅します。



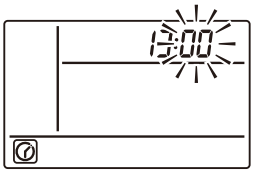
4 ▼ ▲ で「時」を合わせる

「▲」を押すと1時間ずつ進み「▼」を押すと1時間ずつ戻ります。

例）ここでは13時に合わせることで説明します。
「▲」を1回押して「時」を「13」に合わせてください。

5 決 定 を押す

デジタル表示の「時」が点灯し、「分」が点滅します。

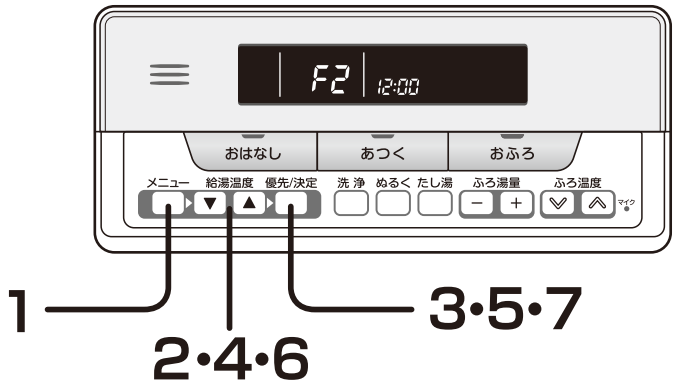


6 ▼ ▲ で「分」を合わせる

「▲」を押すと1分ずつ進み「▼」を押すと1分ずつ戻ります。

7 決 定 を押す

シンプルリモコンで設定した時刻は、浴室リモコンに自動的に反映されます。



1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▲」を1回押す

F2が点滅し、12:00が点灯

3 優先/決定 を押す

F2が点灯し、デジタル表示の「時」が点滅

4 給湯温度 ▼ ▲ で「時」を合わせる

「▲」を押すと1時間ずつ進み「▼」を押すと1時間ずつ戻ります。

例）ここでは13時に合わせることで説明します。
「▲」を1回押して「時」を「13」に合わせてください。

5 優先/決定 を押す

デジタル表示の「時」が点灯し、「分」が点滅

6 給湯温度 ▼ ▲ で「分」を合わせる

「▲」を押すと1分ずつ進み「▼」を押すと1分ずつ戻ります。

7 優先/決定 を押す

浴室リモコンで設定した時刻は、シンプルリモコンに自動的に反映されます。

8

続けて「チャイムを選ぶ」（30ページ）を行う場合は、「▲」を押し、F3が点滅するのを確認し手順の**3**から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

お願い

- 2時間以上の停電で現在時刻がリセットされます。改めて上記の手順にしたがい現在時刻を合わせてください。
- 月に一度は現在時刻を確かめて、ズレがあるときは正しく合わせてください。時刻にズレがあると電気料金が割高になることがあります。
- 現在時刻が表示されていないとき（表示部が横棒表示）は時刻が設定されていません。設定手順にしたがい現在時刻を合わせてください。

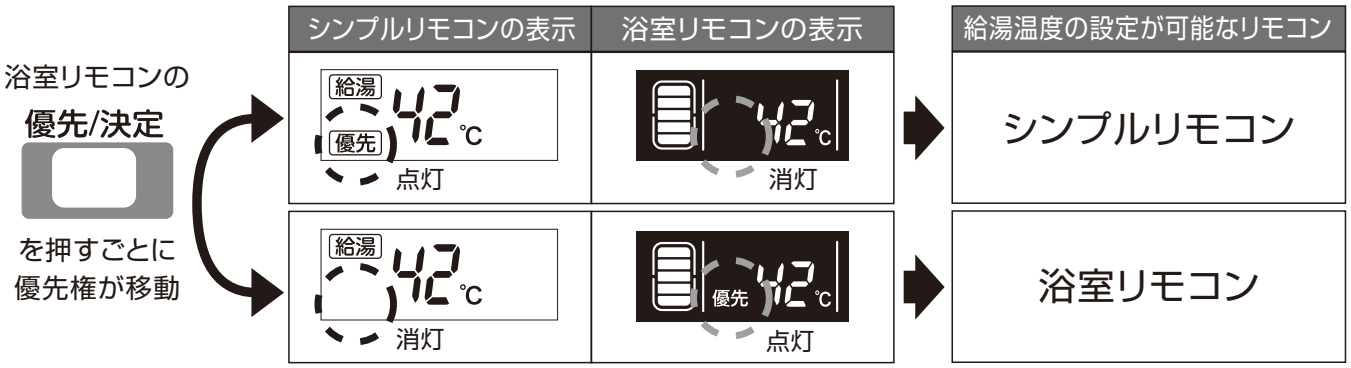
給湯温度を設定する

シンプルリモコン　浴室リモコン

●台所、洗面所、シャワーなど給湯温度をまとめてお好みの温度に設定できます。
●シンプルモコン･浴室リモコンのうち、優先権のあるリモコンで給湯温度の設定ができます。
●お買い上げ時の設定は、シンプルリモコンに優先権があり、「42℃」になっています。
●この機器を複数並列接続してご使用するときは、すべてのリモコンの給湯温度を同じ設定にしてください。同じ設定にしないと適温給湯ができません。

給湯温度の優先表示について

●リモコンの表示部に「優先」が表示されているリモコンに優先権があり、給湯温度の設定ができます。
●優先権は浴室リモコンの「優先/決定」ボタンを押すごとに移動します。
●お湯の使用中に「優先」の切替えや、給湯温度を「50℃」「60℃」に設定することはできません。



浴室リモコンに優先権がないとオートストップ機能が働きません。

浴室でお湯を使用する場合は、必ず浴室リモコンに「優先」が表示されていることを確認してください。
また、優先権がシンプルリモコンにあるまま浴室でお湯を使用すると、給湯温度をシンプルリモコンで変更され、やけど等の事故につながるおそれがあります。

1 給湯温度を設定するリモコンに「優先」表示が無い場合は2に、ある場合は3に移る

2 浴室リモコンの 優先/決定 を1度押す

リモコンの「優先」表示が給湯温度を設定したいリモコンに移動します。

POINT
「優先権」がないリモコンで給湯温度の「▼▲」を押すと、「音声ナビ」で優先設定を切替えるよう指示があります。
※シンプルリモコンはキャンセル音

3 給湯温度 ▼ ▲ を押し設定

「▲」を押すと1℃上がり「▼」を押すと1℃下がります。設定できる温度は30℃～48℃(1℃刻み)、50℃、60℃です。

POINT
50℃、60℃に設定するには、48℃まで温度を上げたあと、1秒程度待ってから「▲」ボタンを2秒以上押すと「50℃」に変わり、さらに続けて押すと「60℃」に変わります。
給湯温度の設定が「50℃」「60℃」の場合、浴室リモコンの表示部は消灯しません。

メ モ

●**ワンポイント**:ふだんはシンプルリモコンに「優先」を設定し、浴室で使うときのみ浴室リモコンに「優先」を移動させると、リビングでの使い勝手がよくなります。
●混合水せんの種類によっては出湯するときに水を混合し、設定した温度より低くなります。このような場合は、給湯温度の設定を高く(プラス10℃)設定してください。(混合水せんの説明書などにも同様の記述がありますので、お確かめください。)
●シャワーが弱い、混合水せんから出るお湯の量が少なく感じる場合は、給湯温度の設定を「60℃」にして水と混ぜてご使用ください。高温の設定ですので、熱い湯でやけどをしないよう気をつけてください。浴室リモコンの表示部は消灯しません。

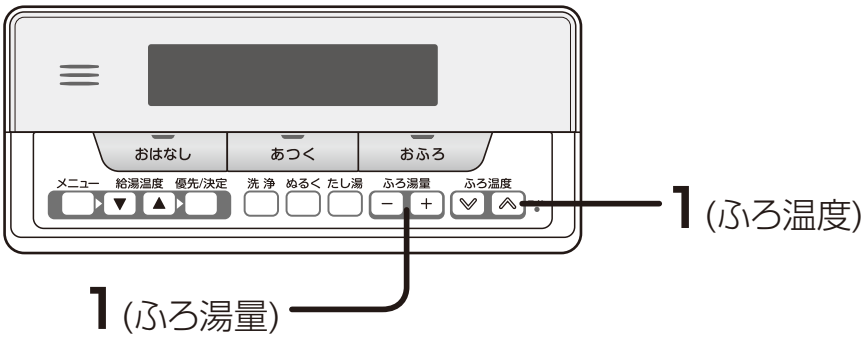
お 願 い

「おふろ」「あつく」「たし湯」「ぬるく」を使用中は、給湯温度の変更ができません。
また、給湯温度が高温または低温になりますので十分やけどにご注意してください。

ふろ湯量を設定する ふろ温度を設定する

浴室リモコン

●ふろ湯はり（オートストップ機能）をするときの、湯はり温度・湯はり量を設定します。
●夏場、冬場など温度や湯量を調節したいときに操作します。



ふろ湯量

1 浴室リモコンの ふろ湯量 [－] [＋] で調節する

湯はりの量を20L刻みで100L～400Lに設定でき、
「 ＋ 」を押すと20L上がり、
「 － 」を押すと20L下がります。
初期設定は180Lです。

ふろ湯量表示	湯はり水位表示
280L～400L	7目盛
260L	6目盛
240L	5目盛
220L	4目盛
200L	3目盛
180L	2目盛
100L～160L	1目盛

設定した表示部の湯はり量は、実際の湯はり量と異なることがあります。
29ページの「おこのみ」設定をした場合、ふろ湯量の調節はできません。

お願い

●湯はり中にふろ湯量の変更をすると、変更したふろ湯量で止まります。ただし、変更したふろ湯量にすでに達している場合は、湯はりが止まるだけです。
●2時間以上停電が続くと、現在時刻がリセットされますので、ふろ湯量が初期設定の180Lになります。再度、ふろ湯量を設定してください。

ふろ温度

1 浴室リモコンの ふろ温度 [∨] [∧] で調節する

浴槽のお湯の温度を35℃～48℃で1℃おきに設定でき、
「 ∧ 」を押すと1℃上がり、
「 ∨ 」を押すと1℃下がります。
お買い上げ時の設定は42℃です。

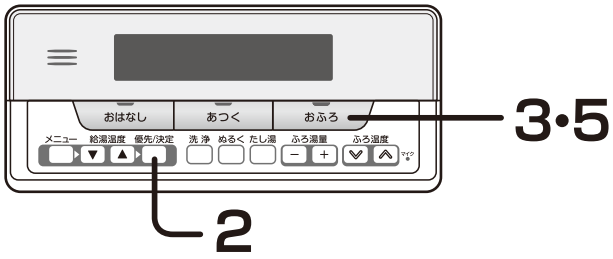
お願い

●「ふろ温度」の設定は、ふろ湯はり完了時の浴槽内の温度ではありません。浴槽内の温度は季節や配管の温度状態により異なります。リモコンの設定は目安としてお使いください。
●湯はり中に「ふろ温度」の変更をすると、設定した温度に湯はりできません。

湯はりをする（オートストップ機能）

浴室リモコン

●必ず浴室リモコンを「優先」設定にしてください。「優先」にしないと湯はり操作が行えません。
●リモコンの「おふろ」ボタンを押すだけで、設定した温度・湯量で湯はりをします。湯はりが完了したら、蛇口を閉めて「おふろ」ボタンを押してください。「おふろ」ボタンを押さないと、蛇口からお湯がでません。
●浴槽に前日の残り湯がある場合は、お湯が溢れますので蛇口を閉めて浴槽のお湯を全部抜いてから再度湯はりしてください。
●湯はり中に他の蛇口を使用してお湯を使うと湯はり量が減少します。
●この機器を複数並列接続してご使用しているときはオートストップ機能が働きませんので操作しないでください。
●安全のため、湯はり完了直前に蛇口から短時間水が出ますが異常ではありません。
●オートストップ機能を使用して湯はりを行った後は蛇口から短時間、設定温度よりも高いお湯が出る場合があります。



1 浴槽のせんをする。

2 浴室リモコンに「優先」がない場合は浴室リモコンの 優先/決定 を押し「優先」に設定する

3 浴室リモコンの おふろ を押し、蛇口を開ける

ランプが点灯し、湯はりを行います。

浴室リモコン表示部の「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「湯はりを開始します。」（フルナビ・ナビ1設定時）
「排水せんを閉めてください。」
（フルナビ・ナビ1設定時）

※湯はり中はシンプルリモコンにおふろマークが点灯します。
※湯はり前に残湯量が全消灯では湯はりができません。
※湯はり中に残湯量が全消灯になると、湯はりを終了します。5蛇口を閉めて、浴室リモコンの「おふろ」ボタンを押してください。

4 湯はりが完了すると

●浴室リモコン

音声ナビでお知らせ

「♪チャイム♪」（常時）
「湯はりを終了します。」（フルナビ・ナビ1設定時）

●シンプルリモコン

ブザーでお知らせ

ブザーの音量は変えられません。

5 蛇口を閉めて、浴室リモコンの おふろ を押す

ランプが消灯し、湯はりを終了します。

湯はりを途中で終了するときは、「おふろ」ボタンをもう1度押し蛇口を閉めます。（先に蛇口を閉めた場合は約1分で湯はりが解除されます。）

お湯の蛇口を閉め忘れると

●機器が自動的にお湯を止めますが、このままではお湯が使えない状態になります。湯はりが終了したら（他の蛇口を開いてお湯がでない場合）、おふろの蛇口を閉めて、「おふろ」ボタンを押して解除するとお湯が使えるようになります。蛇口を閉めないまま解除すると、お湯が出たままとなりますので必ず先におふろの蛇口を閉めてください。
●蛇口を閉めないままで「沸上げ中」になると沸上げの膨張水が蛇口から出ることがあります。

停電のとき

●湯はり中に停電になるとオートストップ機能が動作しないので湯はりが停止しません。
停電の際には、必ず湯はりしている蛇口を閉めてください。
閉めないとお湯が浴槽から溢れます。

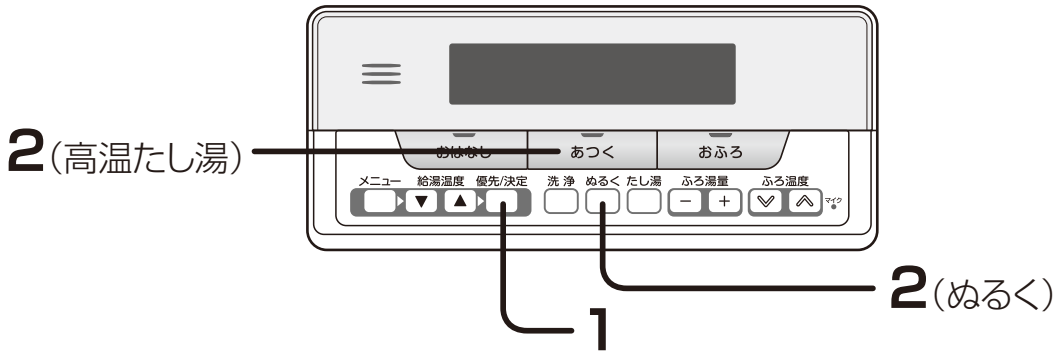
お 願 い

●自動湯はり中にシャワーからお湯または水をたさないでください。お湯が溢れたりします。
●入浴する際には、必ず浴槽の湯温を確認してから入浴してください。適温で湯はりをしていますが、機器の故障等で高温になっている場合があります。

湯かげんを調節する（高温たし湯・ぬるく）

浴室リモコン

●必ず浴室リモコンを「優先」設定にしてください。「優先」にしないと湯かげん操作ができません。
●湯かげんがぬるいときやあついとき、お客さまのおこのみの温度に調節するために使用します。



あつくしたいとき（高温たし湯）

1 浴室リモコンに「優先」がない場合は浴室リモコンの 優先/決定 を押す

表示部に「優先」が点灯します。

2 浴室リモコンの あつく を押し蛇口を開ける

ランプが点灯して、高温たし湯を行います。

「高温」が点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「あつくを設定しました。」（フルナビ・ナビ1設定時）
「高温にご注意ください。」（常時）

3 おこのみの量で蛇口を閉めます。

※給湯温度、浴槽内のデジタル表示が60℃になり、熱いお湯が出ますので、やけどに気をつけてください。
※他の蛇口で給湯しているときは「あつく」が設定できません。（すぐに解除されます。）

「あつく」を使用すると

他のすべての蛇口も同じ温度になります。
シンプルリモコンにも「高温」が表示され、ブザーでお知らせします。「あつく」終了後は、配管内に熱いお湯が残っています。やけどには十分ご注意ください。

ぬるくしたいとき（ぬるく）

1 浴室リモコンに「優先」がない場合は浴室リモコンの 優先/決定 を押す

表示部に「優先」が点灯します。

2 浴室リモコンの ぬるく を押し蛇口を開ける

給湯温度表示部の湯はり温度が「30℃」になり、蛇口から約30℃のお湯が出ます。

浴室リモコン表示部に「ぬるく」が点灯、「矢印」が点滅

音声ナビでお知らせ

「ぬるくを設定しました。」（フルナビ設定時）
「湯温にご注意ください。」（フルナビ設定時）

3 おこのみの量で蛇口を閉めます

「ぬるく」を使用すると

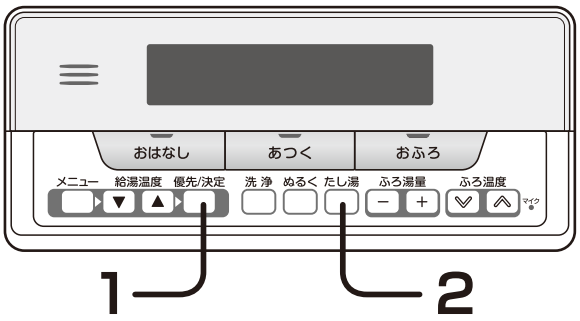
他の蛇口も同じ温度になります。
「ぬるく」が終了すると元の設定温度に戻ります。

お願い

●湯はり中は使用できません。また、タンク内の温度が60℃以下の場合は、タンク内温度のお湯が出ます。

湯かげんを調節する（たし湯）

浴室リモコン



たっぷりにしたいとき（たし湯）

●たし湯は、たっぷりのお風呂にしたいときに使用します。

1 浴室リモコンに「優先」がない場合は、浴室リモコンの 優先/決定 を押す

表示部に「優先」が点灯します。

2 浴室リモコンの たし湯 を押し蛇口を開ける

蛇口より、浴室リモコンの浴槽表示内温度のお湯が出ます。

たし湯表示が点灯、矢印表示が点滅

音声ナビでお知らせ

「たし湯を設定しました。」（フルナビ設定時）
「湯温にご注意ください。」（フルナビ設定時）

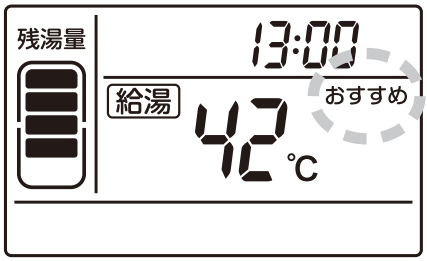
3 おこのみの量で蛇口を閉めます。

※「たし湯」、「高温たし湯」、「ぬるく」は、湯はり中使用できません。
※「たし湯」、「高温たし湯」前や「たし湯」、「高温たし湯」中に残湯量が全消灯になると解除されますので、必ず蛇口を閉めてください。
※「たし湯」、「高温たし湯」、「ぬるく」の最初に配管内の熱いお湯が出る場合がありますのでやけどに気をつけてください。

メモ

沸上げモードの設定

「おすすめ」モード



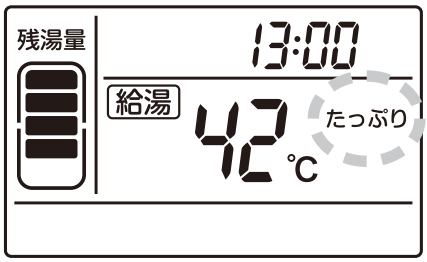
沸上げ方法

お湯の使用量を学習して必要な量だけを沸上げるので、消費電力を抑えることができ、地球温暖化の原因となるCO_2の排出量を減らすことができます。
お湯の使用量を学習して沸上げ温度、沸上げ量を自動で決定し、夜間時間帯の沸上げと昼間時間帯の沸増しでお湯をまかないます。お湯の使用量が少ない場合は、必要な量だけしか沸上げをしないため、残湯量表示が全て点灯しないことがあります。
来客などで普段よりお湯をたくさん使用するときは、「沸増しのしかた」(27ページ)を設定してください。
頻繁にお湯が足りなくなる場合は、「たっぷり」モードに変更してご使用ください。

●「おすすめ」モードでのお湯の上手な使いかたの例

・**少量沸増しを使用する**
沸増しを「少量」に設定(27ページ)しておくと、お湯が少なくなってから約1時間の沸増しを行い、自動的に「少量」設定が解除されます。約1時間の沸増しで、42℃のお湯が100L(冬期)～200L(夏期)使用できます。

「たっぷり」モード



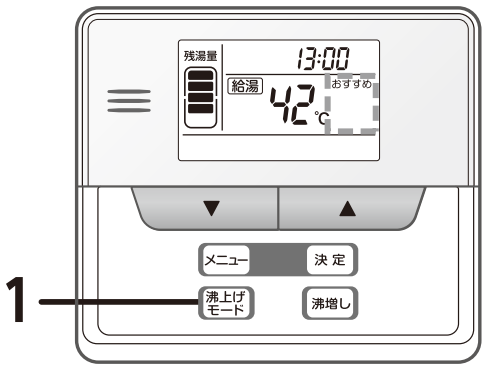
沸上げ方法

「おすすめ」モードと同じく、お湯の使用量を学習して必要量を沸き上げます。
「おすすめ」モードよりもお湯の使用量に余裕があるモードです。
必要な量だけしか沸上げをしないため、残湯量表示が全て点灯しないことがあります。

●「たっぷり」モードでのお湯の上手な使いかたの例

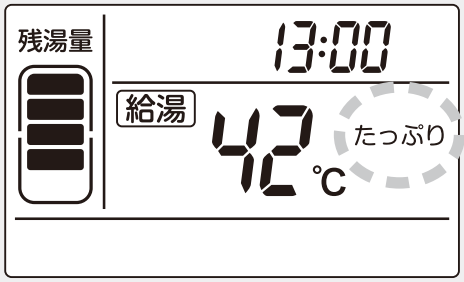
来客などでいつもよりたくさんのお湯が必要なときは、あらかじめ「沸増し」(27ページ)をしておくとお湯が足りなくなるのを防ぐことができます。

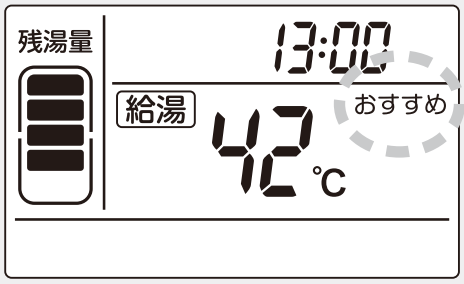
●お客さまのお湯の使用量に合わせた、沸上げモード（お湯の沸上げ方法）を選ぶことができます。
●沸上げモードは「おすすめ」モードと「たっぷり」モードの2通り設定でき、お買い上げ時の設定は「おすすめ」モードになっています。
●この機器は貯湯式の給湯機です。来客などでいつもよりたくさんのお湯が必要なときは、あらかじめ「沸増し」（27ページ）を活用するとお湯が足りなくなるのを防ぐことができます。



1 シンプルリモコンの 沸上げモード を押す

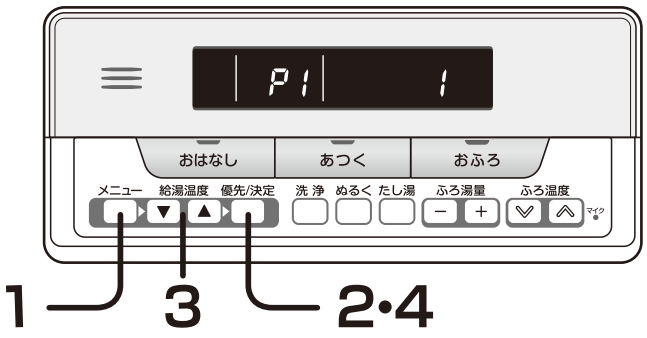
ボタンを押すごとに液晶表示が切り替り、沸上げのモードが変わります。





メ モ

●冬場の水の温度が低いときや、沸上げ中に停電があった場合には設定より低い温度に沸上がります。
●外気温度が低い場合は、沸上げの運転音が大きくなることがあります。
●沸上げ温度はヒートポンプユニットから出る湯温を示します。タンクの内に貯湯されると湯温は下がります。
●沸上げは熱いお湯をタンク上部から貯めていきます。前日のお湯の残りはタンク下部にたまります。



浴室リモコンのみ設置している場合の沸上げモードの変更のしかた

1 浴室リモコンの メニュー を2秒以上押す

P1が点滅し、1が点灯します。

2 優先/決定 を押す

P1が点灯し、右側のデジタル表示が点滅します。

3 給湯温度 で沸上げモードを選ぶ

デジタル表示	沸上げモード
1	おすすめ
2	たっぷり

4 優先/決定 を押す

5 設定が終わり、通常画面に戻すには「メニュー」ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わない場合でも通常画面に戻ります。

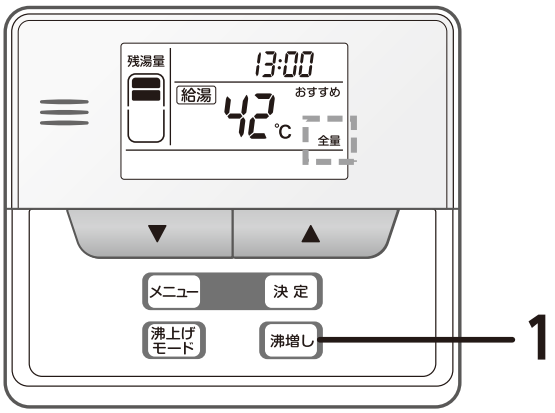
沸増しのしかた（いつもよりお湯を使いそうなとき）

シンプルリモコン

いつもよりお湯を使いそうなとき

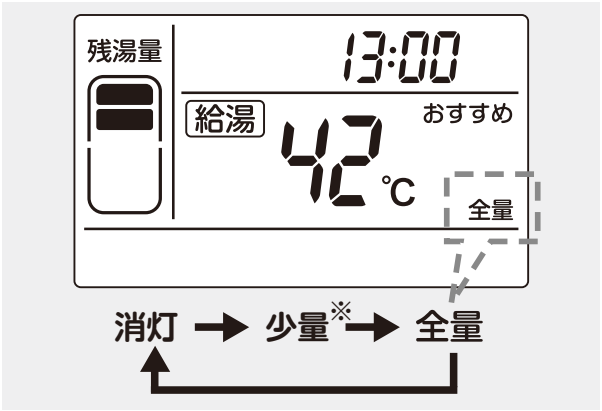
●「沸増し」は昼間の電気でお湯を沸かす機能です。残湯量を目安に不足しそうなときに使用します。
●「全量沸増し」をするとお湯をたっぷりと使えますが、昼間の電気を利用するので電気料金が割高になります。
●現在時刻が設定されていないと「沸増し」はできません。

＜シンプルリモコン＞



1 シンプルリモコンの 沸増し を押す

ボタンを押すごとに液晶表示が切り替り、沸増しのモードが変わります。



※「少量」は沸上げモードが「おすすめ」モード設定のときのみ表示されます

沸増し	目　安
少量	沸上げモードを「おすすめ」モードに設定しているときのみ設定ができます。 沸上げモードを「おすすめ」モード以外のモードに変更したとき、および23時になると自動解除します。「少量」設定にしておくと、お湯が少なくなってから約1時間の沸増しを行い、設定を自動解除します。さらにお湯が必要な場合は、再度「少量」を設定してください。 （1回の沸増しで、42℃のお湯が100L（冬期）～200L（夏期）使用できます。）
全量	設定後、タンク内のお湯が4/5以下になると沸増しを開始し、全量に沸上げます。 設定は1日限りで、23時になると自動解除します（夜間時間帯の沸上げに入ります）。

※外気温度が低い場合や来客などで、いつもよりたくさんのお湯が必要なときなど、あらかじめ設定しておくとお湯が足りなくなるのを防ぎます。

残湯量の見かた

シンプルリモコン

●タンク内のお湯の量を、リモコン表示部の残湯量表示により表します。
●沸上げモードの「おすすめ」モード、「たっぷり」モードともに必要な量だけ沸上げるため、残湯量表示が全点灯しないことがあります。

〈表示内容〉

表　示						
残湯量	30L未満	1/5	2/5	3/5	4/5	全 量

※残湯量を示す最低湯温は約45℃です。(45℃以下になると表示は消えます)
※何日かお湯を使わないままですと、貯湯タンク内の湯温は放熱で徐々に下がります。45℃付近まで下がると、お湯を使っていなくても残湯量表示が消えることがあります。

メ　モ

●沸上げモードを変更すると、残湯量表示が変わることがあります。
●リモコンを浴室リモコンのみ設置している場合、沸増し設定はできません。浴室リモコンから操作できる、「ちょっぴり沸増し」をご利用ください。
●お湯をご使用しているときの条件により、いくつかの目盛りが同時に消えることがありますが、故障ではありません。

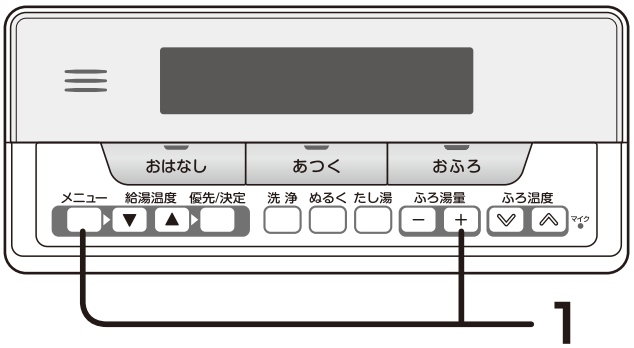
ちょっぴり沸増し（浴室から沸増しをする）

浴室リモコン

浴室から沸増しをする

●ちょっぴり沸増し…おふろに入っている最中に残湯量が気になった場合などに使います。
※約40分の沸増しを行います。

<浴室リモコン>



ちょっぴり沸増し

1 メニュー を押しながら ふろ湯量 の「+」を押す

インジケーターの一番上の目盛りが点滅

ちょっぴり沸増しの解除のしかた

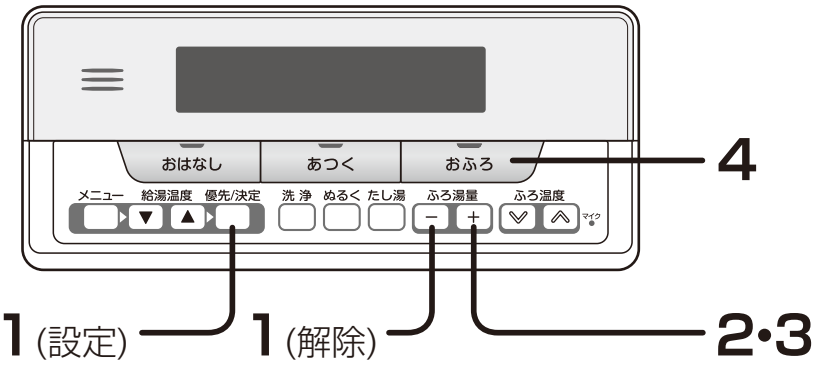
1 メニュー を押しながら ふろ湯量 の「+」を押す

インジケーターの一番上の目盛りが点灯

おこのみの湯はり量に調節する（おこのみモード）

浴室リモコン

●「おこのみ」は、お客さまのお好きな湯量で湯はりをするときに使用します。
●必ず浴室リモコンを「優先」設定にしてください。「優先」にしないとおこのみの操作ができません。「おこのみ」はお客さまのお好きな水位がそのまま設定できますので、大きな浴槽や湯はり量（何リットル入るか）が分からない浴槽などにご使用ください。



おこのみ湯量の設定のしかた

1 浴室リモコンに「優先」がない場合は浴室リモコンの 優先/決定 を押し、「優先」にする

2 浴室リモコンの ふろ湯量 −／＋ の ＋ を押し続け「ふろ湯量」を400Lにする

3 さらに ＋ を2秒以上押す

「湯はり水位表示」が消え「おこのみ」表示が点灯

4 おふろ を押し、蛇口を開ける

「おふろ」ランプと「おこのみ」表示が点滅したら蛇口を開けます。
湯はり量を計算するので、蛇口・シャワーで水をたさないでください。
「おふろ」ボタンを押さないまま、10秒過ぎると「おこのみ」を自動解除します。
※湯はり中はシンプルリモコンにおふろマークが点灯します。

5 おこのみの水位になったら蛇口を閉める

「おふろ」ランプが消灯し、「おこのみ」表示が点灯します。
※ おふろ を押してから、蛇口を閉めても設定できます。
※蛇口を閉めないとお湯はずっと出続けます。

使いかた

「湯はりをする」（21ページ）と同じように使用します。

おこのみ設定の解除のしかた

1 浴室リモコンの ふろ湯量 −／＋ の − を2秒以上押す

「おこのみ」表示が消灯し、180L、2目盛りの水位に設定されます。

お願い

●1度設定すれば、解除するか、停電等で初期リセットがかかるまで「おこのみ」で設定した水位で湯はりします。
●設定中に停電すると、設定は解除され初期の状態に戻ります。
●「おこのみ」設定で湯はりする場合には、お湯をたくさん使用する場合がありますので、残湯が全量残っている時に行ってください。
●「おこのみ」を再設定する場合は、浴槽のお湯（水）を一度排水し、設定を解除してから行ってください。

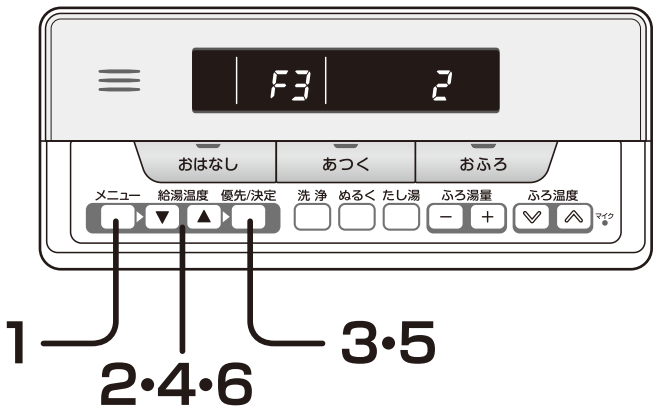
浴室リモコンに反映されます

チャイムを選ぶ

浴室リモコン

●自動湯はりの終了時に流れるチャイムを選ぶことができます。
チャイムは3種類ありますので、その中からお好きなものをお選びください。

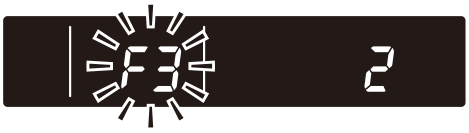
表示はお客さま購入時の設定です。



1 浴室リモコンのメニューを押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度▼▲の「▲」を2回押す



F3が点滅し、2が点灯

3 優先/決定を押す

F3が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度▼▲で1～3の中からお好みのチャイムを選ぶ

「▲」を押すと次のチャイムに進み「▼」を押すと前のチャイムに戻ります。

5 優先/決定を押す

選んだチャイムが鳴り決定します。

6

手順の5で鳴ったチャイムを変更したい場合は、もう1度「優先/決定」ボタンを押し、手順の4から始めてください。

7

続けて「ナビゲーションを制限する」（31ページ）を行う場合は、「▲」を1回押し、F4が点滅するのを確認後、手順の3から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

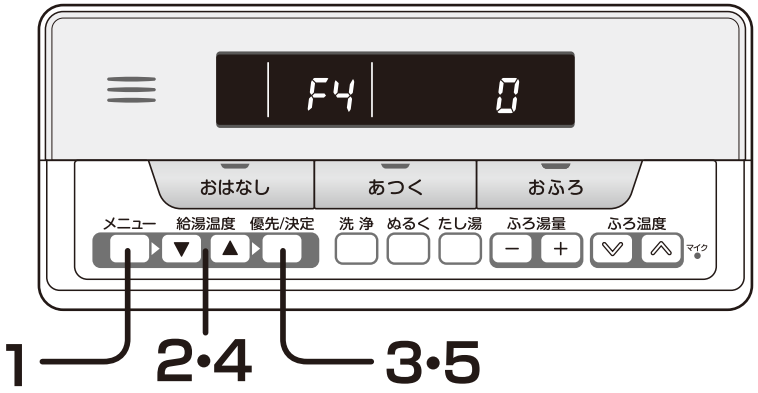
浴室リモコンに反映されます

ナビゲーションを制限する

浴室リモコン

●湯はりの準備から完了までや、操作の状況を音声でお知らせするナビゲーションの内容を制限することができます。
●ナビゲーションが必要な方、そうでない方それぞれに設定ができます。

表示はお客さま購入時の設定です。



1 浴室リモコンのメニューを押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度▼▲の「▲」を3回押す

F4が点滅し、0が点灯

3 優先/決定を押す

F4が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度▼▲で0～2の中から

お好みの制限を選ぶ

「▲」を押すと次の制限になり「▼」を押すと前の制限に戻ります。

3段階の制限は下表のようになります。ボタンを押したときのナビゲーションの有無を表しています。

浴室リモコン

デジタル表示 / ボタン名	フルナビ 0	ナビ1 1	ナビ2 2
おふろ	○	○	湯はり終了チャイム
あつく	○	○	「高温にご注意ください。」
給湯温度	○	○	
たし湯	○		
ぬるく	○		
優先/決定	○	○	
洗 浄	○		
エラー音	○	○	○
給湯ナビ音	○		

※給湯温度を高温にしたときの「高温にご注意ください。」のナビゲーションはすべての制限にはいります。
※操作の手順により、ナビゲーションが省略される場合があります。

5 優先/決定を押す

6

続けて「ナビゲーションの音量を調節する」（32ページ）を行う場合は、「▲」を1回押し、F5が点滅するのを確認後、手順の3から始めてください。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

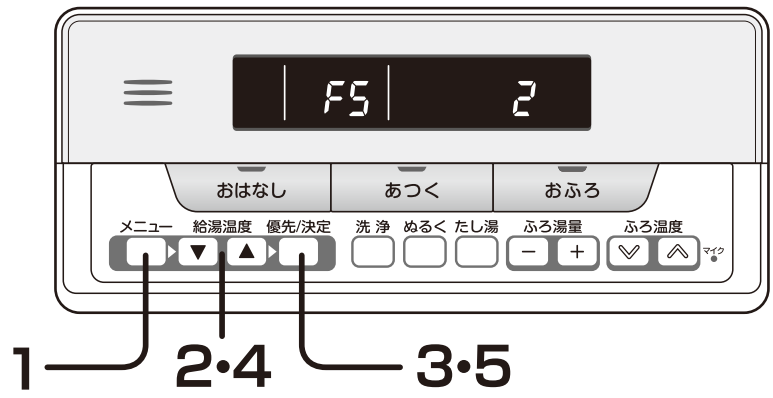
浴室リモコンに反映されます

ナビゲーションの音量を調節する

浴室リモコン

●ナビゲーションの音量を浴室リモコンに調節することができます。

表示はお客さま購入時の設定です。



1 浴室リモコンのメニューを押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度▼▲の「▲」を4回押す

F5が点滅し、2が点灯

3 優先/決定を押す

F5が点灯し、右側のデジタル表示が点滅

4 給湯温度▼▲で0～3の中から お好みの音量を選ぶ

「▲」を押すと次の音量になり「▼」を押すと前の音量に戻ります。

デジタル表示	内　容
0	ナビゲーションなし
1	「音声」は最小
2	「音声」は標準
3	「音声」は最大

5 優先/決定を押す

6

続けて「タンク湯温を表示する（34ページ）を行う場合は、「▲」を2回押すことによりタンク湯温を表示します。

メ　モ

●設定を“ナビゲーションなし”にしてもボタン操作音は消えません。
●設定を“ナビゲーションなし”にした場合、給湯温度を高温にした時の「高温にご注意ください」のナビゲーションもなくなりますので、やけどにご注意ください。

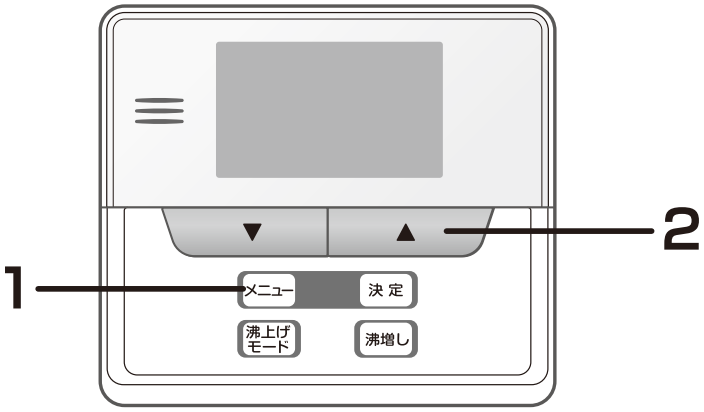
タンク湯温を表示する

●タンク内のお湯の温度を確認できます。ただし、蛇口から出てくる温度と異なります。
●外気温度が低い場合は、表示温度が低くなることがあります。

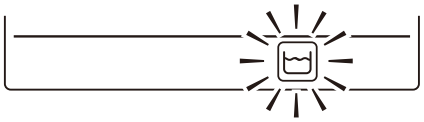
使用湯量を表示する

シンプルリモコン

●深夜2:00から現在までのお湯の使用量を確認できます。



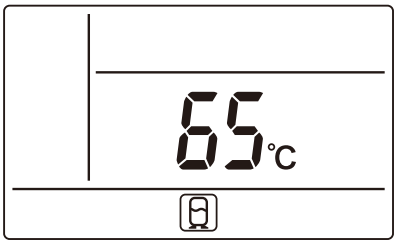
1 シンプルリモコンの メニュー を押す



おふろマークが点滅、または点灯（湯はり中）

2 ▲ を2回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。



タンク湯温マークが点灯し、タンク内のお湯の温度を表示します。

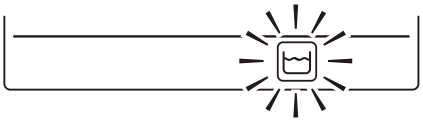
3

続けて次の「使用湯量を表示する」を行う場合は「▲」を1回押せば使用湯量を表示します。
通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メ モ

●湯温はタンク上部にあるセンサーが検知します。前日の残り湯が多い場合には表示温度が低くなることがあります。
●タンク湯温表示後は、約10秒で給湯温度の表示に戻ります。

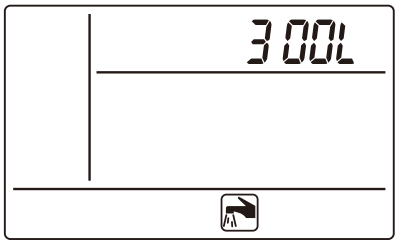
1 シンプルリモコンの メニュー を押す



おふろマークが点滅、または点灯（湯はり中）

2 ▲ を3回押す

「▲」を押すと点滅が次のマークに移り「▼」を押すともとのマークに戻ります。



使用湯量マークが点灯し、お湯の使用量を10L刻みに表示します。

3

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メ モ

●使用湯量は使用したお湯の量を、42℃換算にした量です。
●使用湯量表示後は約10秒で給湯温度の表示に戻ります。

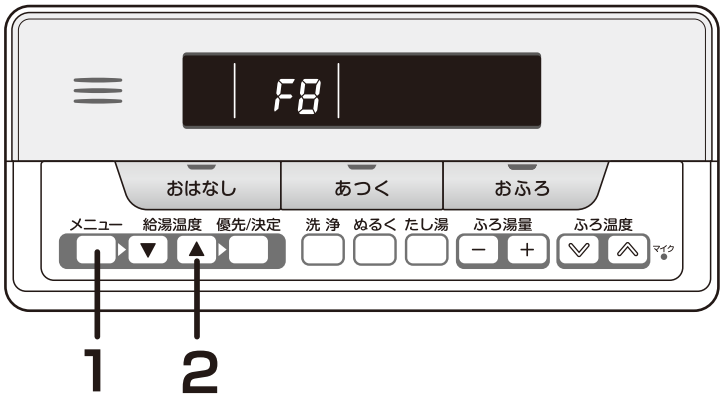
タンク湯温を表示する

●タンク内のお湯の温度を確認できます。ただし、蛇口から出てくる温度と異なります。
●外気温度が低い場合は、表示温度が低くなることがあります。

使用湯量を表示する

浴室リモコン

●深夜2:00からのお湯の使用量を確認できます。



1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し、2hが点灯

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▲」を6回押す

F7が点灯し、タンク内のお湯の温度を表示

3 続けて次の「使用湯量を表示する」を行う場合は、「▲」を1回押せば使用湯量を表示します。

通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メモ

●湯温はタンク上部にあるセンサーが検知します。前日の残り湯が多い場合には表示温度が低くなることがあります。
●タンク湯温表示後は、約10秒で給湯温度の表示に戻ります。

1 浴室リモコンの メニュー を押す

F1が点滅し2hが点灯

2 給湯温度 ▼ ▲ の「▲」を7回押す

F8が点灯し、使用湯量を表示

3 通常モードに戻るには「メニュー」を押します。

メモ

●使用湯量は使用したお湯の量を、42℃換算にした量です。
●使用湯量表示後は約10秒で給湯温度の表示に戻ります。
●990Lを超える使用量は「FFOL」が表示され、実際の使用量は表示されません。

非常時のお湯（水）のとりかた

●万一の災害による断水時にタンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。
●非常時以外は使用しないでください。

⚠警告

手をふれない

非常用水は、熱湯が出るおそれがあります。やけどに注意する

最初は水が出てきますが、熱湯が出てくることがあります。

手をふれない

非常用水の採水時はヒートポンプ口本体に手を触れない

本体が熱くなりやけどをすることがあります。

⚠注意

飲用禁止

飲用しない

水質が変化した場合、下痢、腹痛など体をこわすことがあります。

1.非常用水の取りかた

1 漏電遮断器のレバーを「切」にする

漏電遮断器は電源ボックスカバーの中にあります。

2 専用止水せんを閉じる

3 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

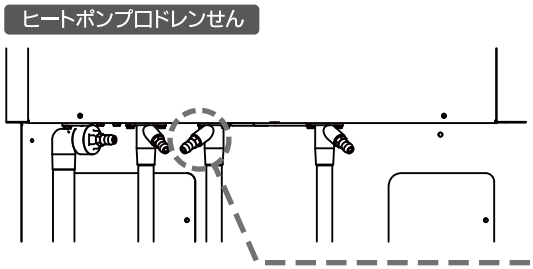
4 ヒートポンプ口ドレンせんを開きお湯（水）を出す

開いてすぐは汚れた水がでますので、きれいになってからご使用ください。

5 使用後はヒートポンプ口ドレンせんを閉じる

6 逃し弁レバーを戻す

逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。



2.通常運転への戻しかた

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

2 専用止水せんを開く

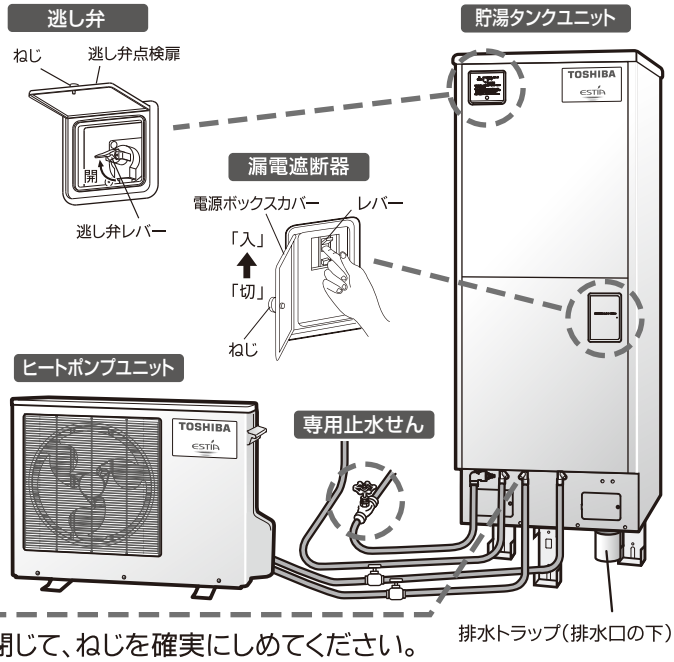
3 排水トラップに水が出てきたら、逃し弁レバーを戻す

見えないときは、水の音で確認してください。

4 漏電遮断器のレバーを「入」にする

5 リモコンで現在時刻を合わせる

17～18ページをご覧ください。

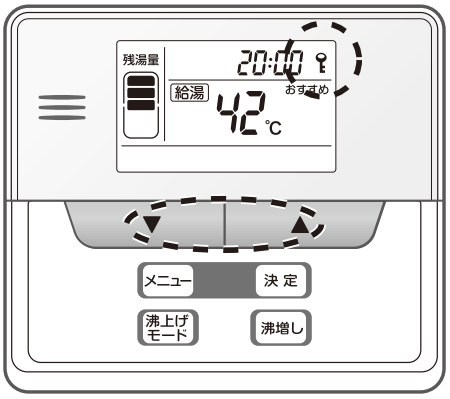


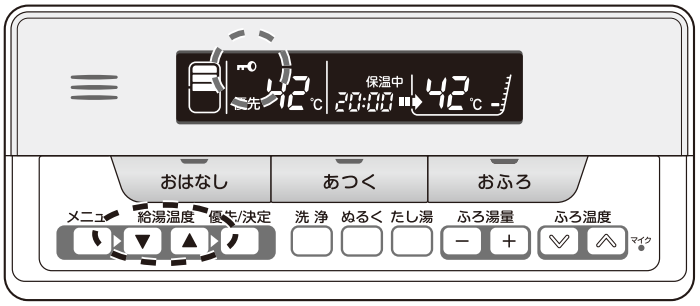
●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー、逃し弁点検扉を閉じて、ねじを確実にしめてください。

リモコンのロックのしかた

シンプルリモコン　浴室リモコン

●お子さまなどリモコンをいたずらに操作されないよう、それぞれのリモコンでボタン操作のロックができます。
●ボタン操作のロック中は、画面にロック表示（カギマーク）が点灯します。





給湯温度の「▼」と「▲」を同時に2秒間押すことにより、ボタン操作の「ロック」と「ロックの解除」を交互におこなうことができます。

お願いとお知らせ

お湯は大切に上手に使いましょう。

●お風呂のふたは
浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。

●浴槽の「排水せん」の確認を忘れずに
湯はりするときは必ず浴槽の「排水せん」をしてください。
湯はりができず湯切れの原因になります。

●来客があるときは
必要に応じて、「沸増し」をしてください。

●入浴時間は
夜間の通電時間前（23:00前）にすませるようにしてください。
通電時間中（23:00～7:00）にお湯をたくさん使用すると、翌日に湯量が不足します。
※夜間時間帯は電力契約により異なります。

●湯はりはお湯が沸いてから
湯はりをする場合は、残湯量表示が3つ以上あることを確認してください。
※「おこのみ」設定で湯はりする場合には、お湯をたくさん使用する場合がありますので、残湯が全量残っている時に行ってください。

●「あつく」ボタンはお湯があるときに
タンク内の温度が60℃以下の場合は、タンク内温度のお湯が出ます。

■浴槽やタイルの目地の青い付着物
●配管が新しいと青い付着物がつくことがあります。これは、水中に含まれる銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応しできるもので、毒性や健康への害はまったくありません。
通水（通湯）の繰り返しで発生しにくくなります。

●市販の台所の油汚れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。
〈油汚れ専用洗剤〉
速効湯アカ分解 株式会社リンレイ
マジックリン 花王株式会社

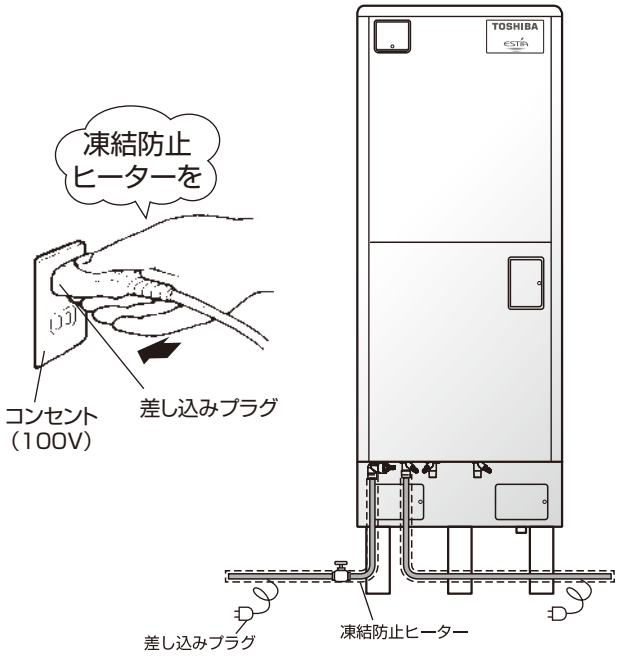
凍結防止について

●凍結により配管等が破損するおそれがありますので、凍結が予想される時期は以下の方法で対応してください。

1.凍結防止ヒーターによる方法

●気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書どおりの凍結防止ヒーターによる保温工事をしてください。

●水が凍る時期になりましたら、全ての配管の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



2.ヒートポンプ配管の凍結防止

●外気温度が下がると、循環ポンプが運転します。
さらに温度が下がると沸上げモードに関係なくヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプ配管の凍結を防止します。

お 願 い

●電源は「入」のままにしてください。通電していないと凍結防止のための循環ができません。

3.粉雪対応運転について（寒冷地向けのみ）

●ヒートポンプユニットは、停止中も外気温によりファンを運転することがあります。

長期間ご使用にならないとき

●通水確認後や使用開始後、外気温が凍結温度まで下がるような時期に、長期間お使いにならないときは、下記の手順にしたがって、各部の排水および水抜きを行ってください。
●長期間お使いにならないと、タンクの水は変質するおそれがありますので、必ずすべて排水してください。
●タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内がお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

1.排水･水抜き方法

1 漏電遮断器のレバーを「切」にする
漏電遮断器は電源ボックスカバーの中にあります。

2 専用止水せんを閉じる

3 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く
逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

4 排水せんを開く
排水せんは排水点検扉の中にあります。
約40分～60分で水が抜けます。
熱湯が出るのでご注意ください。

5 貯湯タンクユニット5カ所、ヒートポンプユニット2カ所のドレンせんを開く
右の図を参照してください。
熱湯が出るときがありますのでご注意ください。

6 漏電遮断器のレバーを「入」にする

7 浴室リモコンの3つのボタンを「優先/決定」「おはなし」「メニュー」の順番で、同時に2秒以上押す（シンプルリモコンのみ設置の場合は「決定」「メニュー」「▼」）
ポンプが断続運転し、配管内に残った水が各ドレンせんから出てきます。動作が終了したら1分程度間隔をあけて、もう一度行います。

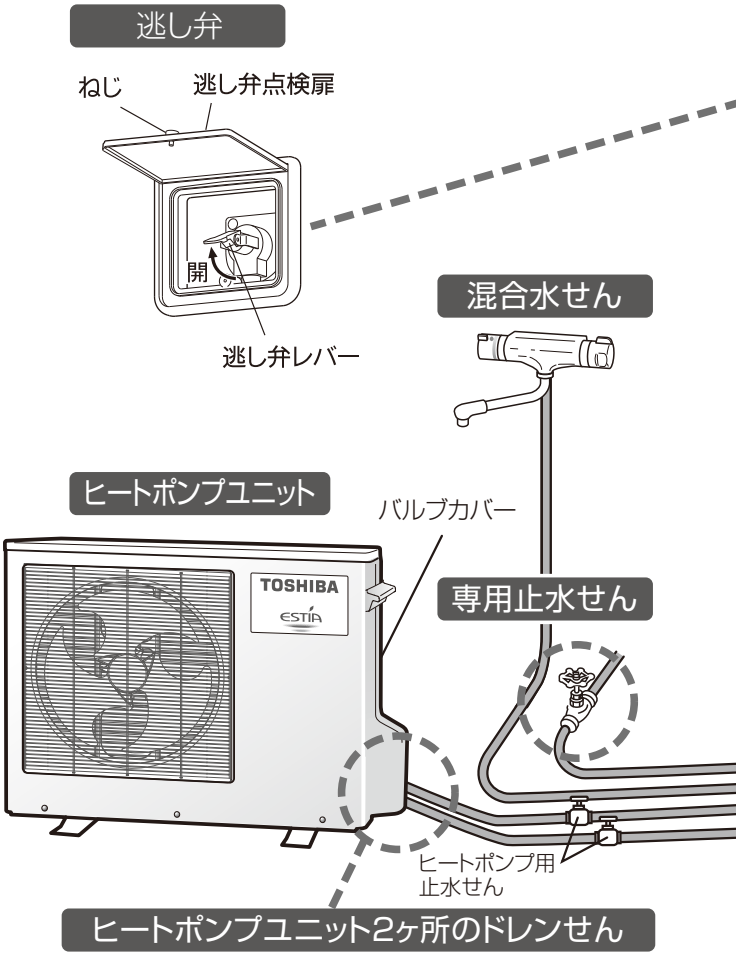
8 漏電遮断器のレバーを「切」にする
専用止水せんは次にご使用するときまで、閉じたままにしてください。

9 貯湯タンクユニット5カ所、ヒートポンプユニット2カ所のドレンせんを閉じる
右の図を参照してください。

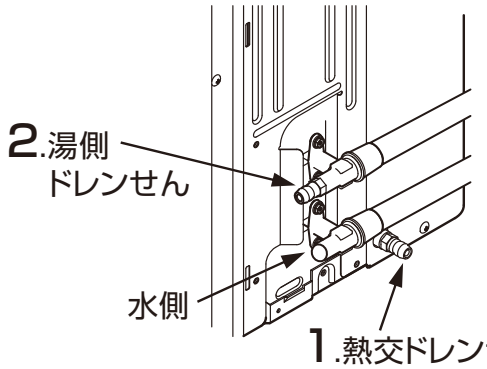
10 逃し弁レバーを戻して逃し弁を閉じる

お願い

●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー･逃し弁点検扉･排水点検扉の扉を閉じて、ねじを確実に締めてください。

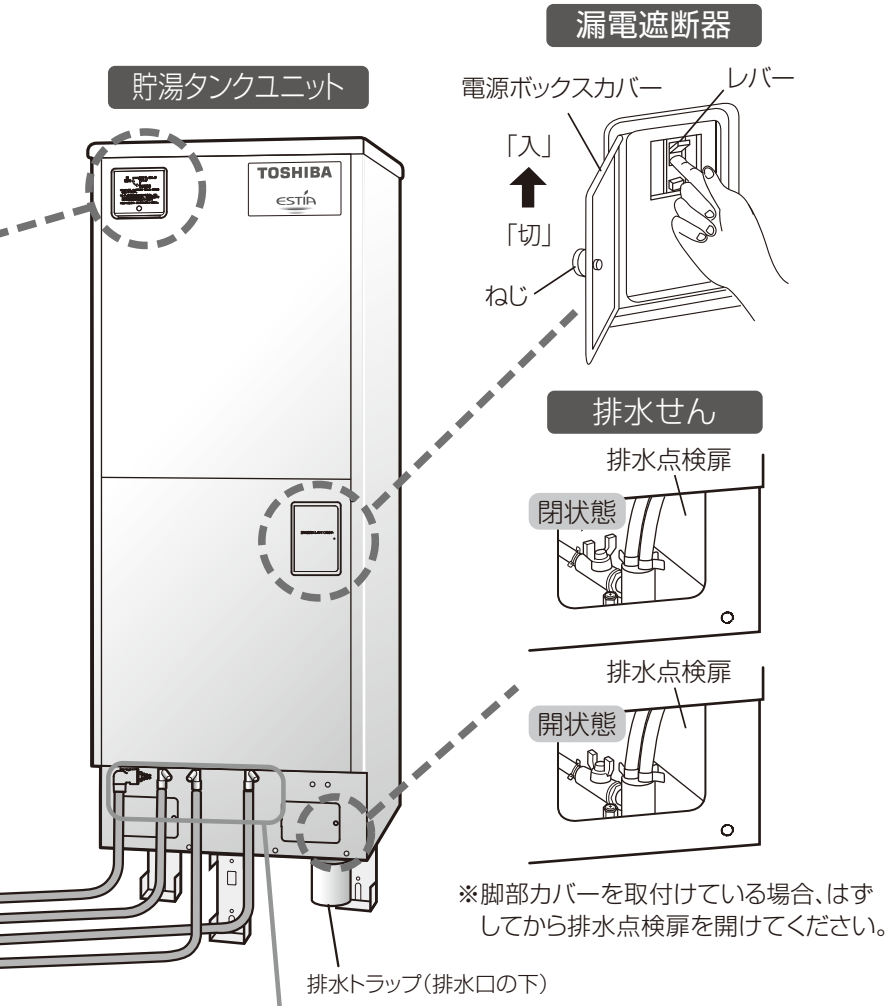


ドレンせんを開くときは、下図の番号順に開いていきます。



ヒートポンプユニット2カ所のドレンせんは、バルブカバー内にあります。

<バルブカバーのはずしかた>
バルブカバーを止めているねじ（3ヶ）を外し、下方へスライドさせ、ツメ（2ヵ所）をはずし手前に引きます。



2.ふたたび使用するとき

1 逃し弁レバーを立てて、逃し弁を開く

逃し弁は逃し弁点検扉の中にあります。

2 専用止水せんを開く

約20分～40分で満水となり排水トラップに水が出てきます。（見えないときは音で確認）

3 満水になったら逃し弁レバーを戻して逃し弁を閉じる

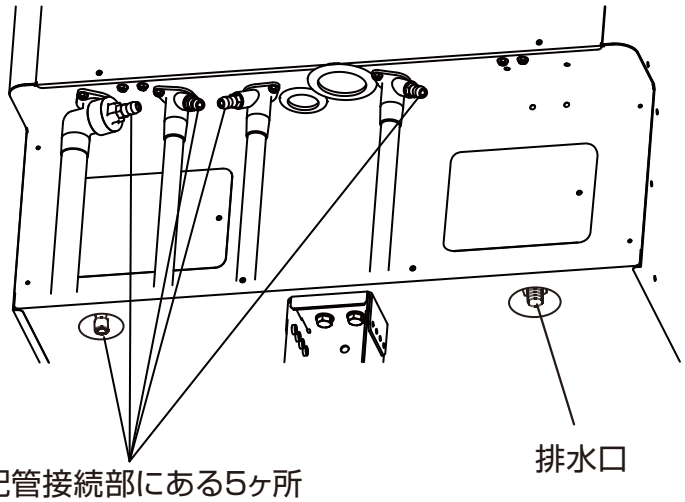
4 漏電遮断器のレバーを「入」にする

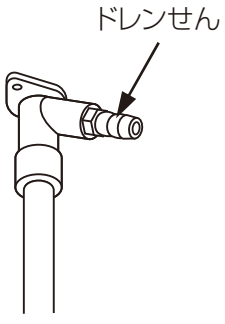
ポンプが約3分間断続運転します。

5 リモコンで現在時刻を合わせる

17～18ページをご覧ください。

以上で再使用が可能になります。





お願い

●ご使用のあとは必ず、電源ボックスカバー・逃し弁点検扉・排水点検扉の扉を閉じて、ねじを確実にしめてください。

安全点検・お手入れのしかた

■事故を防止するために下記の安全点検を必ず行ってください。

■安全点検

1.漏電遮断器の動作を確認

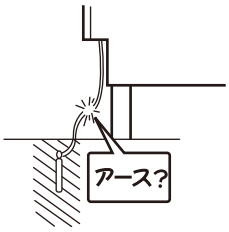
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
年に2～3回は漏電遮断器の動作確認を通電時間内に、つぎのように確認してください。

⚠警告

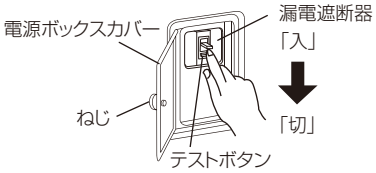
漏電遮断器の動作を確認する

漏電遮断器が故障のまま使用すると、漏電のとき感電の原因になります。

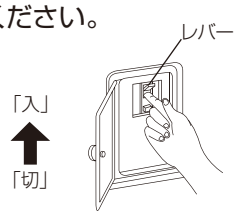
1 アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。



2 電源ボックスカバーをあけて、テストボタンを押してください。漏電遮断器のレバーが「切」になれば、正常です。



3 テストのあとは、必ずレバーを「入」にもどし、電源ボックスカバーを閉じて確実にねじを締めてください。



2.水漏れの点検

1 貯湯タンクユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認してください。

⚠注意

水漏れを点検する

特に集合住宅では、漏水が階下へ被害を与えます。
日常確認してください。

3.気温が低いときには凍結防止の確認

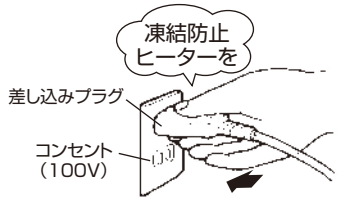
1 気温がマイナス5℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので工事説明書どおりの保温工事をしてください。

2 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。また、凍結の心配のない時期になりましたら、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

凍結防止対策を確認する

配管が破損してやけどをすることがあります。



4.逃し弁の動作を確認

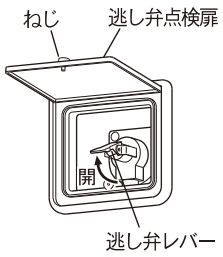
年に2～3回は、逃し弁のレバーを立てて動作確認をしてください。

⚠警告

逃し弁点検時には、排水管に手を触れない

やけどをすることがあります。

1 レバーを立てたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。
（排水が確認できないときは、水の音で排水されたことを確認してください。）

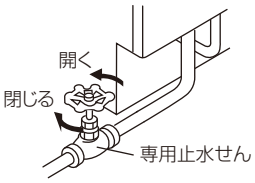


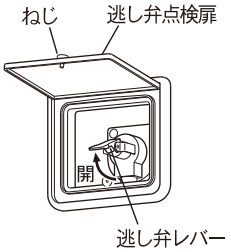
- ●逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。
- ●逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。
  逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。
- ●逃し弁は高い位置についていますので、脚立などを使用し転倒しないよう十分注意してから点検を行ってください。

■お手入れのしかた

1.ストレーナーの掃除

湯および水の出が悪くなったときは、給水口のストレーナーの掃除が必要です。
ストレーナーの掃除を行うときは次の手順に従って行ってください





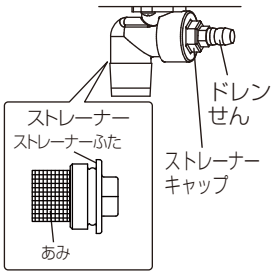
1 専用止水せんを閉じます。

2 機器の配線用遮断器（ブレーカー）を「切」にします。

3 脚部カバーを取付けている場合は、はずします。

4 逃し弁レバーを立てて逃し弁を開け、約1分間タンク内の圧力を抜きます。

5 貯湯タンクユニット下部にある給水口のストレーナーをはずし、あみを掃除します。（ドレンせんをゆるめ、配管内に残っている水を抜きます。モンキーレンチ等でストレーナーキャップをはずし、水を流しながらブラシ等でよく洗います。）



6 ストレーナーキャップを組み込み、モンキーレンチ等で締め付けた後、専用止水せんを開きます。水漏れがないことを確認してください。

7 機器用の配線用遮断器（ブレーカー）を「入」にします。

2.長期間お使いにならないとき

タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。「排水·水抜き方法」は39ページをご覧ください。

⚠注意

1ヶ月以上使用しないときは漏電遮断器を「切」にしてタンクの排水をする

水質が変化することがあります。

ふたたびご使用になるときは、40ページの「ふたたび使用するとき」によりタンクが満水になったことを確かめてから、通電準備をしてください。

翌日ご使用になるときは、給湯せんから配管内の空気と蒸気が最初に出ますので、やけどに注意してください。

3.タンク内の掃除

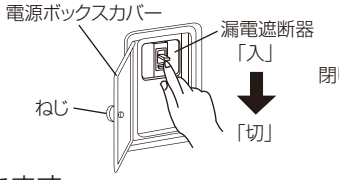
使用しているうちに水アカや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2～3回は次の手順で排水口から水アカなどを出してください。タンク内の掃除をするときは、1度湯はりをした後に行ってください。（タンク下部に給水されることにより排水口から熱湯が出ることを防ぎます）

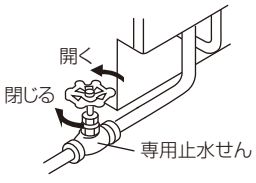
⚠注意

タンクの熱湯排水は直接しない

やけどをすることがあります。

1 電源ボックスカバーを開け、漏電遮断器のレバーを「切」にします。



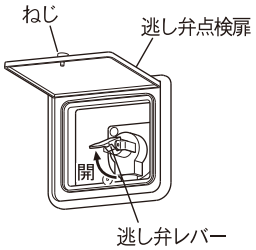


2 専用止水せんを閉じます。

3 排水点検扉開け、排水せんを開きます。

4 逃し弁点検扉を開け、逃し弁レバーを立てて、約2分間逃し弁を開きます。

5 よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんを閉じ、排水点検扉を閉めます。
※お湯が出てくることがありますのでご注意ください。



6 排水が終わりましたら、専用止水せんを開きます。

7 排水トラップに水が出てくるまで逃し弁を開きます。
（見えないときは音で確認してください）

8 漏電遮断器のレバーを「入」にします。

安全点検・お手入れのしかた（つづき）

＜39 ～ 40 ページの図を見ながら進めてください＞

4.断水や近くで水道工事が行われるとき

工事が行われる前に専用止水せんを閉じてください。
濁った水がストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
断水が解除されたら専用止水せんを開いて、水がきれいになったのを確かめてから機器を使用してください。

5.過圧防止弁について

過圧防止弁排水口より湯（水）が漏れている場合（貯湯タンクユニットの据付場所がぬれている等）は、配管システムまたは機器に異常があります。
漏電遮断器のレバーをさげて電源を「切」にし、専用止水せんを閉じてお使いになるのをやめてください。
お買い上げの販売店に連絡をして修理を受けてください。

6.リモコンの掃除のしかた

リモコンの表面が汚れたときは水に濡らしたやわらかい布をかたくしぼって、軽く拭き取ってください。
リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
※洗剤およびシンナー・ベンジン・アルコール等は使用しないでください。

■定期点検（有料）

定期点検

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。
点検費用については、販売店にご相談ください。
※定期点検で見つかった不具合部品は、保証期間中は無料でおとりかえします。(消耗部品は除く)

定期点検の主な内容

●**据付状態の点検**
貯湯タンクユニット設置面、配管状態（断熱処理等）、電気配線、アースなどの確認、ヒートポンプユニットの据付状態、システムの水漏れ確認
●**部品の点検**
貯湯タンクユニット弁類（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ）、電気部品（制御基板）、ポンプ、逆流防止装置の点検
ヒートポンプユニット電気部品(制御基板)、圧縮機の点検
●**清掃**
タンク内の清掃、貯湯タンクユニットのストレーナーの清掃

消耗部品・劣化しやすい部品

●減圧弁
●逃し弁
●ミキシングバルブ
●ポンプ
●三方弁
※部品交換時は、当社純正部品をご指定ください。

5年保証に関する免責事項

48ページに5年保証に関する免責事項が記載してあります。大変重要な内容ですので、必ずお読みください。

故障かな？（こんな表示がでたら）

●エラー表示は、ご使用のリモコンすべてに表示されます。
●エラー表示がでているときは、まずエラーの解除をしてください。また下の表に基づいて処置をしてください。エラー表示が消えればそのまま使用できます。
●下の表以外のエラー表示やエラー解除をしても再度同じエラーが出るとき、下の表に基づいて処置をしてもエラーがでるときは、お買い上げの販売店または、東芝電気給湯機ご相談センターにご相談ください。

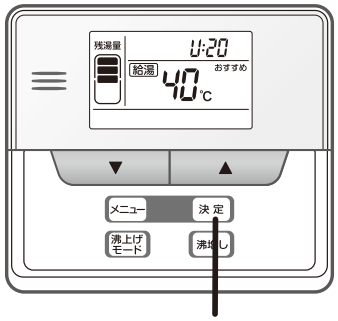
エラー表示	現象・原因	お湯の沸上げ	自動湯はり	エラーの手動解除	エラーの自動解除	処置方法
E:15	●「おふろ」ボタンを押してから12分間蛇口を開けなかった	○	×	○	×	[E:15]表示中は給水停止弁が閉まっていますのでお湯が使用できません。 再度、湯はりをする場合はエラー解除後、「おふろ」ボタンを押して蛇口を開いてください。
U:22	●リモコンの残湯表示がないときに「おふろ」ボタンを押した。 ●「おふろ」ボタンのランプが点灯中に、お湯を使いすぎ、リモコンの残湯表示がなくなった。	○	×	○	○	リモコンでエラー解除をしてから「沸増し」設定をして、リモコンの残湯表示が「2/5」以上になってから再操作してください。
U:27	●給湯機の専用止水せんが完全に開いていないか、断水や配管の凍結により給水されず、「おふろ」ボタンを押して約60分過ぎても設定水位まで湯はりができない。	○	×	○	×	給湯機の専用止水せんが全開になっているか、断水や配管が凍結しているか確認してください。上記改善後、リモコンでエラー解除してください。
E:29	●湯はり時に設定温度より高いお湯がでた。	○	×	○	×	[E:29]表示中は給水停止弁が閉まっていますのでお湯が使用できません。 エラー解除できますが修理までの間は湯はりのご使用を控えてください。

（○:できる、×:できない）

（エラー解除）

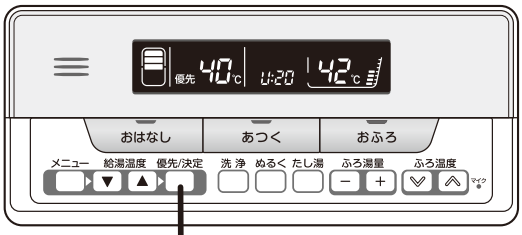
※エラー解除は、ご使用のリモコンすべてで行えます。
●エラーには解除できるものとできないものがあります。解除できるものは上の表で説明しているエラーです。
●リモコンの表示部にエラーが表示されたときは、手順にしたがって解除してください。

シンプルリモコンで解除するとき



決定を
2秒間押す

浴室リモコンで解除するとき



優先/決定を
2秒間押す

（このようなときは）

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

症　　状	点検するところ	対処方法
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	●給水圧が低くないですか。	●水圧の確認を水道局へ依頼してください。
	●専用止水せんは開いていますか。	●専用止水せんが閉じていたら、開いてください。
	●断水ではありませんか。	●水道局へ問い合わせてください。 （断水が終わるまで待ってください）
	●ストレーナーが詰まっていませんか。	●42ページの「ストレーナーの掃除」によりお手入れをしてください。
	●配管部分が凍結していませんか。	●お買い上げの販売店にご相談ください。
	●湯はり完了時、「おふろ」ボタンを押して湯はりを終了しましたか。	●「おふろ」ボタンを押して湯はりを終了してください。
	●複数のシステムを連結している場合、すべてのリモコンの「★」マークが消灯していませんか。	●お湯が沸くまでお待ちください。
お湯が沸かない。	●配線用遮断器（ブレーカー）が「切」になっていませんか。 ●漏電遮断器のレバーが「切」になっていませんか。	●「切」になっているときは「入」にしてください。 ※2度、3度と「切」になる場合は故障のおそれがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●リモコンの現在時刻が正しく設定されていますか。	●現在時刻が正しく設定されていないとお湯が沸上がりません。 ●17～18ページの「現在時刻の合わせかた」をご覧いただき、設定してください。
お湯が足りない。	●夜間時間帯にお湯をたくさん使用したり、ふろ自動運転をしたりしませんでしたか。 ●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	●沸上がるまでお待ちになるか、27ページの「沸増しのしかた」により、沸増ししてください。 ※この製品は貯湯式ですので、一度に使用できる湯量に限りがあります。「使用湯量」を確認して、多い場合には節約をお願いします。
	●沸上げモードは「おすすめ」モードですか。	●沸上げモードを上のランクへ切替えてお使いください。（「たっぷり」モードに）
	●昼間など沸上げていないときに、逃し弁の逃し管からお湯が流れていませんか。 ※沸増し中は昼間でも逃し弁から膨張水が排水されます。	●41ページの「逃し弁の動作を確認」により、逃し弁の動作確認をしてください。 ●お湯が止まらないときは、逃し弁の交換を依頼してください。
	●複数のシステムを連結している場合、すべての電源が入っていますか。	●すべての電源を入れて、給湯温度設定を同じにしてください。
お湯がぬるい。	●リモコン給湯温度設定が低くありませんか。 ●混合水せんの温度設定が低くありませんか。	●リモコンの給湯温度設定を混合水せんの温度設定より約10℃高く設定してください。 ●それでも湯温が上がらない場合は、混合水せんのメーカーに点検を依頼してください。
	●タンク内水温が高くありませんか。	●水温がいちじるしく高い場合には設定温度まで沸上げることができません。
お湯や水を止めると異音がする。	●ウォーターハンマー現象ではないですか。 ※ウォーターハンマー現象とは、お湯（水）の流れを急に止めるシングルレバータイプの水栓に起こりやすい現象です。	●お買い上げの販売店にご相談ください。
お湯から油が出たり臭いがする。	●設置後、初めてのご使用ですか。	●設置後、初めてお湯を使用するときは、配管工事の際の油や臭いがお湯に混ざって出る場合があります。 しばらく使用すると徐々に無くなります。
シャワーの出が悪い。 途中から変化する。	●給水圧が低くありませんか。 (300kPa以下)	●水圧の確認を水道局へ依頼してください。

症　　状	点検するところ	対処方法
濁ったお湯が出る	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。	●水がきれいになったのを確認してからお使いください。 43ページの「断水や近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	●42ページの「タンク内の掃除」によりタンク内の掃除をしてください。
「おふろ」「たし湯」「あつく」「ぬるく」ボタンを受け付けない。	●浴室リモコンに「優先」表示が点灯していますか。	●浴室リモコンの「優先／決定」ボタンを押して浴室リモコンに「優先」表示を点灯させてください。
	●残湯量表示がすべて消灯していませんか。	●お湯が沸くまでお待ちください。
湯はりの水位がいつもと違う。	●ふろ湯量が変更されていませんか。	●20ページの「ふろ湯量・ふろ温度を設定する」により、ふろ湯量を調節してください。
	●湯はり中に他の蛇口でお湯を使っていませんか。	●湯はり中に他の蛇口でお湯を使うと湯はり量が少なくなります。
浴槽に青い線（付着物）が付く。	●銅管が新しいと青い線（付着物）がつくことがありますが、毒性は無く、健康への害は全くありません。	●37ページの「お願いとお知らせ」をご覧いただき、掃除をしてください。
リモコンが操作できない。	●操作ボタンがロックされていませんか。	●36ページの「リモコンのロックのしかた」をご覧いただき、ロックを解除してください。
浴室リモコンが全消灯している。	●浴室リモコンを操作してから５分以上経過しませんでしたか。	●浴室リモコンは省エネのために５分以上操作しないと全消灯します。 いずれかのボタンを押すと再点灯します。 また、お湯を使用すると再点灯します。 ※給湯温度が５０℃、６０℃に設定されているときは全消灯しません。
リモコンのナビゲーションが聞こえない。	●ナビゲーション設定を変更していませんか。	●「フルナビ」設定以外はナビゲーションが制限されます。 31ページの「ナビゲーションを制限する」により、設定を確認してください。
	●浴室リモコンを設置されていますか。	●シンプルリモコンにはナビゲーション機能はありません。
ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。	●気温が低いときは、蒸発器の除霜のため、運転／停止を繰り返します。 ●気温が低いときは、ヒートポンプ配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。	●異常ではありません。
夜間時間帯にヒートポンプユニットが動いていない。	●運転開始時刻は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。	●異常ではありません。
排水口からお湯が出ている。	●沸上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。 この膨張分が逃し弁から排水されます。	●異常ではありません。
沸上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる。	●冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。	●異常ではありません。
沸上げ運転中、ヒートポンプユニット底板のドレン口から水が出る。	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。	●異常ではありません。

仕様

システム形名 貯湯タンクユニット+ヒートポンプユニット			一般地向け		寒冷地向け
			HWH-FH370C	HWH-FH460SC	HWH-FH460SCN
適用電力制度			季節別時間帯別電灯型・時間帯別電灯型〔通電制御割引対象商品〕		
電源定格			単相 200V（50Hz／60Hz共用）		
最大電流			17A	18A	
沸上げ温度			約 65℃～約 90℃（水温・外気温により可変）		
年間給湯効率（APF） ※1 ※2			3.3	3.2	
仕向地			次世代省エネ基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域 ※3 ●次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据え付けは出来ません。最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●お湯の使用状態や外気温などによって沸上げ温度は変化します。 ●外気温がマイナス5℃以下の場合の最高沸上げ温度は約80～85℃となります。 ●連続して外気温がマイナス5℃以下となる地域では寒冷地向け製品を設置してください。		次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域 ●最低外気温がマイナス25℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので据え付けないでください。 ●最低外気温がマイナス10℃を下回る地域では貯湯タンクユニットは屋内に設置してください。 ●お湯の使用状態や外気温などによって沸上げ温度は変化します。
用　途			セントラル給湯・ふろ自動湯はり（浴室リモコン使用時のみ）		
			2～4人家族用	3～5人家族用	
貯湯タンクユニット形名			HWH-FH370CT	HWH-FH460SCT	HWH-FH460SCTN
貯湯タンクユニット	タンク容量		370L	460L	
	設置条件		屋外・屋内兼用		
	外形寸法	幅	630mm	630mm	
		奥行	730mm	730mm	
		高さ	1800mm	2140mm	
	質量		約67(437)kg	約76(536)kg	
	消費電力	沸上げ用ポンプ	40W		
		凍結防止ヒーター	20W		30W
		制御用消費電力 ※10	4W		
	最高使用圧力		340kPa（減圧弁設定圧力：300kPa）		
	配管口径		給水・給湯：R3/4　排水：Rc3/4　ヒートポンプ接続：R1/2		
	給湯温度設定		30℃～48℃（1℃ステップ）、50℃、60℃		
	浴槽の目安		120L～450L		
	ふろ給湯機能		自動湯はり・高温たし湯・たし湯・差し水		
ヒートポンプユニット形名			HWH-450CU	HWH-600CU	HWH-600CUN
ヒートポンプユニット	外形寸法	幅	820mm		
		奥行	320mm		
		高さ	712mm		
	質量		約60kg		約66kg
	中間期加熱能力 ※5 ※6		4.5kW	6.0kW	
	中間期消費電力 ※6		0.980kW	1.33kW	
	夏季加熱能力／消費電力 ※5 ※7		4.5kW / 0.880kW		
	冬季高温加熱能力 ※4 ※5 ※8		4.5kW	6.0kW	
	冬季高温消費電力 ※8		1.50kW	2.00kW	
	運転音(冬期/中間期) ※6 ※8 ※9		44/38dB	46/42dB	
	冷媒名		R744(CO_2)		
	中間期COP ※6		4.6	4.5	
	凍結防止ヒーター		———		55W

年間給湯効率（APF）について

$$\text{年間給湯効率} = \frac{\text{一年で使用する給湯に係る熱量}}{\text{一年間で必要な消費電力量}}$$

※1 年間給湯効率は（社）日本冷凍空調工業会の規格である「JRA4050:2007R」に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おすすめ」設定で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で 42℃のお湯を一日に約 425L 使用する条件等を想定したものです。
※2 沸上げモード：「おすすめ」設定
※3 北海道、青森、秋田、岩手等　次世代省エネ基準Ⅰ・Ⅱ地域での据付はできません。
※4 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。
※5 沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※6 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃/12℃、水温 17℃、沸上げ温度 65℃
※7 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃/21℃、水温 24℃、沸上げ温度 65℃
※8 作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃/6℃、水温 9℃、沸上げ温度 90℃
※9 運転音は、JRA4050 規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※10 中間期条件で、沸上げ・給湯などの動作がなく、リモコンは消灯（待機）した状態のときに測定した数値です。なお、シンプルリモコンを 1 個接続した状態で測定しています。
※仕様は改善のため変更することがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

5 年保証に関する免責事項について（重要なお知らせ）

- ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 少しでも長くお使いいただくために、取扱説明書の内容に従って定期的にお手入れと日常点検を行ってください。
- 下記内容および取扱説明書・工事説明書の内容を守らなかったために発生した不具合については保証期間内であっても、無償保証の対象外となります。

- 消耗部品（減圧弁、逃し弁、ミキシングバルブ、ポンプ、電動弁）の交換。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
- 施工上の誤り、据付不良による故障および損傷。
- 海岸近くでご使用される場合。（塩害地向け製品を除く）
- お買い上げ後の落下や取付場所の移動、輸送などで生じた故障および損傷。
- 誤ったご使用や不当な修理・改造をされた場合。
- 火災、天変地変（地震、風水害、落雷など）、温泉地等の地域における腐食性の有毒ガス等の空気環境に起因する不具合で生じた故障および損傷。
- タンクに供給する水が以下の場合。
  - 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を使用した場合。
  ※水質基準内であっても塩素濃度・石灰分・その他不純物の含有、また酸性水質の場合にはタンク・部品などの劣化を早め故障・水漏れの原因となる場合があります。
  - 温泉水・地下水・井戸水を使用した場合。（不具合が発生した場合、無償保証はできません。）
  - マンション等の貯水槽において、特に高濃度の塩素が含まれた水を製品に供給した場合。（タンク・部品の劣化を早め、故障・水漏れの原因となる場合があります。規定内の塩素濃度で管理された水をご使用ください。）
- 異常電圧、異常水圧など電気・給水の供給トラブル・凍結等による故障および損傷。
- 一般家庭用以外（例えば、業務用に使用、車両、船舶などへ備品として搭載、食品保存や機器の冷却、動植物・精密機械・美術品の保存など特殊用途）に使用された場合の故障および損傷。
- 浴室など湿気の多い場所や他の機器の影響（振動など）による故障および損傷。
- 降雪地で小屋がけしないで屋外に設置し、雪による故障および損傷。
- ねずみ・カエル・ヤモリ等の動物の行為に起因する不具合。
- 経年変化または通常の使用損傷により発生する不具合。（音、振動、錆、傷、塗装の脱色など機能に影響のない範囲内の感覚的な現象の場合。）
- 当社純正別売部品を使用せずこれが原因で本体不良となった場合。
- 防水処理・排水処理されていない床面に設置された場合の水漏れによる二次被害。
- シンプルリモコンに水をかけた場合。（シンプルリモコンは防水タイプではありません。水をかけると故障の原因になります。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかぶせたりしないでください。）
- 機器の故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。
- 決められた電源以外でご使用された場合、あるいは海外で使用した場合。（本機種は日本国内専用です。）

メモ

メモ

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝電気給湯機ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-19**

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど **03-5365-7420**（通話料：有料）

FAX **0947-32-2892**（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

●この東芝ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●この東芝ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から5年です。（ただし、消耗部品は対象外です）

●その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

●ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年間です。

●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてからお買い上げの販売店にご相談ください。修理は専門の技術が必要です。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合にはご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品　　名	ヒートポンプ給湯機
システム形名	HWH−□□□□□□□
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

★長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を!

愛情点検

このような症状はありませんか。	●お湯の出が悪い。●お湯が早くなくなる。 ●逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。 ●設置場所が常にぬれている。 ●時々、漏電遮断器が働く。 ●その他の異常、故障がある。	▶ ご使用中止	故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水せんを閉じてから、必ずお買いあげの販売店に点検修理（有料）をご相談ください。

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521　静岡県富士市蓼原336番地

http://www.toshiba-carrier.co.jp/

EF99904201